

第33回 ツール・ド・北海道2019

元気で
北海道



ステージレース 総走行距離 約541km

▶ 第1ステージ(ロードレース) [185km] 9/6(金)

旭川市～東神楽町～東川町～美瑛町～上富良野町～
中富良野町～富良野市～南富良野町～新得町

▶ 第2ステージ(ロードレース) [174km] 9/7(土)

帯広市～音更町～士幌町～上士幌町～上川町～北見市(留辺薬)

▶ 第3ステージ(ロードレース) [182km] 9/8(日)

北見市～訓子府町～置戸町～北見市(留辺薬)～遠軽町～
上川町～愛別町～当麻町

北の大地で繰り広げられる疾走ドラマ

9/6 fri → 8 sun

■主催/公益財団法人ツール・ド・北海道協会、公益財団法人日本自転車競技連盟
■協賛(予定)/国土交通省、スポーツ庁、経済産業省、北海道、北海道市長会、北海道町村会、公益財団法人JKA、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、一般財団法人日本自転車普及協会、一般社団法人自転車協会、NHK札幌放送局、北海道テレビ放送株式会社、北海道経済連合会、一般社団法人北海道商工会議所連合会、公益社団法人北海道観光振興機構、一般社団法人北海道建設業協会、一般社団法人北海道舗装事業協会、一般社団法人日本道路建設業協会北海道支部、北海道アスファルト合材協会、一般社団法人北海道バス協会、公益財団法人北海道トラック協会
■特別協力(予定)/北海道新聞社
■協力(予定)/北海道開発局、北海道経済産業局、旭川市、東神楽町、東川町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、新得町、帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、上川町、北見市、訓子府町、置戸町、遠軽町、愛別町、当麻町、公益財団法人北海道スポーツ協会、一般社団法人北海道交通安全協会、北海道自転車競技連盟、北海道自転車軽自動車商業協同組合、北海道サイクリング協会、特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会
■お問い合わせ/公益財団法人ツール・ド・北海道協会

TEL. 011-222-5922
<https://www.tour-de-hokkaido.or.jp>



ガイドブック GUIDE BOOK



競輪の補助事業

この大会は、競輪の補助を受けて実施します。
<https://www.jka-cycle.jp>



もっと速く、さらに遠くへ

身を切るような風、照りつける太陽。時には嘲るかのように降りしきる雨。

敵は競争相手だけではない。最大の敵はおのれ自身。

それにうち勝つ者だけが、ゴールの向こうにあるものを手にすることができる。

- 2019シーズン、イタリア籍プロコンチネンタルチーム「NIPPO・ヴィーニファンティーニ・ファイザネ」は、日本代表としても活躍する中根英登ら5名の日本人選手が所属。イタリア、スペイン、コロンビアから集まった有能なチームメートたちと共に、世界ランキングへの挑戦を続けています。
- 今季は3年ぶりに主催者招待枠を獲得し、ジロ・デ・イタリアへの出場が叶いました。グローバルスタンダードを意識したチーム運営・活動方針で、日本と競技の本場ヨーロッパとの橋渡しを行っています。

NIPPO は戦うアスリートたちを応援します。



公益財団法人ツール・ド・北海道協会
会長 綿貫 民輔

Tour de Hokkaido Association
President
WATANUKI Tamisuke

ツール・ド・北海道大会は、1987年に日本初のステージレースとして開催されてから、回を重ね今年で33回目を迎えます。この間、多くの方のご理解とご支援のもと、国際大会として定着してきており、我が国を代表するサイクルロードレースとして発展してまいりました。

今年のツール・ド・北海道2019は、昨年9月に発生した北海道胆振東部地震により全日程が中止となりました。2018大会の仕切り直しとして、道北・道東地域を舞台に、海外6チーム、国内14チームの計20チームを招請し、3日間のロードレースを開催する運びとなりました。

今年の大会は、大雪山系の麓を一周するアップダウンの厳しい山岳レースとなります。初日は、旭川市総合防災センター駐車場特設会場において開会式を行った後、第1ステージのロードレースを旭川市からスタートし、十勝岳など3箇所のKOM（山岳ポイント）を駆け抜け新得町でフィニッシュします。2日目の第2ステージは帯広競馬場をスタートした後、大雪山国立公園内の1,000m超の三国峠及び石北峠を走破し、北見市留辺薬町でフィニッシュします。3日目の第3ステージは北見市民温水プール前をスタートし、今大会最後の峠となる北見峠を越え、当麻町とうまスポーツランドでのフィニッシュとなります。

選手の皆さんには、雄大な大雪山系の自然の中で、総走行距離541キロメートルに及ぶレースが白熱した展開になることを心から期待します。加えて、本大会がサイクルスポーツの振興、国民の健康増進、国際交流の促進、そして北海道の地域活性化に大きく寄与するものと確信する次第です。

結びに、本大会の開催に当たり、ご支援・ご協力を賜ります関係各位に心から感謝するとともに参加選手諸君の健闘を祈念いたします。

Tour de Hokkaido, with the support from many people, marks thirty third edition and has developed into the international cycle road race representing Japan.

"Tour de Hokkaido 2019" will be held with twenty inviting teams both from home and abroad. The race consists of three road races over northern and eastern Hokkaido in three days.

This year's course covering the tough mountainous route around the bottom of Mt. Daisetsuzan range which was supposed to be covered as 2018 course cancelled due to Hokkaido Iburi Earthquake occurred in September.

On the first day, after the opening ceremony at Asahikawa Disaster Prevention Center, Stage 1, the road race from Asahikawa City to Shintoku Town features three KOM including Mt. Tokachidake.

Stage 2 on the second day, starts from Obihiro Racecourse. The course covers the part of Daisetsuzan National Park that includes over 1,000m Mikuni Pass and Sekihoku Pass and finishes at Rubeshibe-cho in Kitami City.

Stage 3 on the third day, starts in front of Public Swimming Pool in Kitami City featuring Kitami Pass and finishes at Tohma Sportsland in Tohma Town.

I hope that the magnificent nature of Mt. Daisetsuzan range will help exciting race development for all the participants. In addition, I am firmly convinced that this competition will contribute significantly to the promotion of public health, international exchange and revitalization of socioeconomic activities in Hokkaido.

In closing, I would like to express my deepest appreciation to all people concerned for their support and cooperation in holding this competition, and I wish all the participants good luck.



公益財団法人日本自転車競技連盟
会長 橋本 聖子

Japan Cycling Federation
President
HASHIMOTO Seiko

このたびの「ツール・ド・北海道2019」の開催、主催の一端を担う者として、そして北海道に生まれ育った者として誠に嬉しく、心強く思います。

今大会は、わが国におけるステージ・レースの草分けとして1987年に始まりました。私自身も、オリンピック・ソウル大会に出場する前年、この大会の第1日目4kmのタイムトライアルに参加したことがあり、鮮明な思い出として、今も心に残っています。

来年は、いよいよ2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。このツール・ド・北海道の出場選手から将来オリンピック選手が育ち、活躍されることを期待しております。

出場される皆様には、日頃の練習の成果を十分発揮し、健闘されますよう期待いたします。ツール・ド・北海道の歴史を通じて、わが国のサイクルスポーツの普及発展に大きなチャンスを与えてくださいました関係各位、そしてボランティアとしてご協力いただいた皆様に心から感謝と敬意を表し、挨拶といたします。

As one of the organizers and a native of Hokkaido, it brings me a great pleasure to have "Tour de Hokkaido 2019" held this year.

In 1987, Tour de Hokkaido, started as the pioneer of Japan's stage race. It is a pleasant memory that I took part in the first stage, 4-km individual time trial in the year before I participated in Seoul Olympics.

The 2020 Tokyo Olympic and Paralympic Games will take place within a year finally. I believe that this Tour de Hokkaido help the participants develop into the Olympians in the future.

I hope that every rider of all participating teams competes to the best of his ability. I would also like to express my sincerest appreciation and respect to the government ministries and agencies, local governments, organizations, volunteers and those who concerned for continued support for cyclists and race fans in Japan throughout the history of Tour de Hokkaido.



北海道知事
鈴木 直道

Governor of Hokkaido
SUZUKI Naomichi

高く澄んだ秋空の下、ツール・ド・北海道2019が盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、国内外からお越しの皆様のご来道をお心から歓迎いたします。

本大会は、大自然の中を駆け巡る国内最大級の自転車ステージレースとして、北海道における自転車競技の普及や振興に大きく貢献されるとともに、本道の魅力を広く国内外に発信していただいております。

今年は、大雪山や十勝岳など勇壮な山々が連なる北海道の中央部を舞台としており、アップダウンの激しいコースを選手の皆様がひたむきにゴールを目指す姿は、観る者を魅了し、多くの勇気と感動を与えてくれることと思います。

選手の皆様には、優勝を目指して全力で走り抜られますとともに、仲間との交流を深め、互いの健闘をたたえ合い、思い出に残る大会にさせていただきたいと思っております。

結びに、大会の開催にご尽力された関係の皆様へ深く敬意を表しますとともに、本大会のご成功と選手の皆様のご健闘をお心からお祈り申し上げます、お祝いのことばといたします。

It is our great pleasure to have Tour de Hokkaido 2019 held here in Hokkaido under autumn sky, with participating athletes and officials both from home and abroad.

As one of the biggest cycle stage races in Japan, Tour de Hokkaido has been significantly contributing to promote the development of cycle race in Hokkaido through the exciting international road races, as well as appealing the Hokkaido's attraction.

The course of Tour de Hokkaido 2019 takes place covering the public road in central Hokkaido including valiant Mt. Daisetsuzan and Mt. Tokachidake. Riders' enthusiastic performance dealing with rough course and their team strategy aiming for the goal, will touch spectators' heart.

I hope that all the participants will fully demonstrate their skills to show their best performance striving for the victory as well as deepening exchanges and encouraging each other, to make this opportunity memorable.

In closing, I would like to express my deepest appreciation to those concerned, for their efforts in holding this competition, and wish the great success.

なめらかに、とろける口どけ
ロイズ 生チョコレート

ひと口食べた瞬間のしっとりとしたやわらかさ、なめらかさ。
豊かに広がっていくまるやかな余韻。
北海道の上質な生クリームが叶える、ロイズだけのおいしさを心ゆくまでお楽しみください。



生チョコレート [オーレ]

ロイズ直営店

- 東苗穂店 ■札幌丸井今井店 ■札幌大丸店 ■福住店 ■厚別西店 ■あいの里公園店
- 屯田公園店 ■西宮の沢店 ■心と美工場直売店 ■上江別店 ■新千歳空港店 ■イオンモール旭川駅前店
- チョコレートの楽しさがいっぱい! 「ロイズ チョコレートワールド」(新千歳空港ターミナルビル3階)

通販ご注文ダイヤル ☎0120-373-612 8:00~22:00(日・祝含む) ※カタログのご請求も承ります(無料) インターネット www.royce.com



Contents

[目次]

ごあいさつ

Greetings

大会賞典 1

Prize

大会主催・後援・協力・協賛 3

Organizers・Supporters・Cooperators・Sponsors

コースレイアウト 4

Course Layout

出場チーム紹介 6

Participating Teams

レースの基礎知識 12

Spectator's tip for enjoying race

チェックポイント 14

Check points

キャラバン編成表 15

Motorcade Formation for Tour de Hokkaido 2019

第1ステージ 16

Stage 1

第2ステージ 22

Stage 2

第3ステージ 26

Stage 3

歴代チャンピオン 30

Champions of Tour de Hokkaido

役員名簿 32

Officials

実行委員会名簿 33

Secretaries of Executive Committee of Tour de Hokkaido 2019

賛助会員等名簿 37

Support members

交通規制のあらまし 39

The outline of the traffic restriction

Prize

[プライズ]



北海道カップ (個人総合時間賞)
制作/伊藤 隆道 氏

General Individual Classification
by Time Hokkaido Cup: Produced
by Takamichi Ito

大会最高の栄誉、個人総合時間賞 ポイント・山岳の個人賞と総合力の団体賞

ツール・ド・北海道大会の表彰は、個人総合時間賞、個人総合ポイント賞、個人総合山岳賞、団体総合時間賞及びU26団体総合時間賞の計5つ。なかでも個人総合時間賞は最も評価が高く、個人表彰部門での最高の栄誉とされている。

ステージレースは数日間にわたって各 구간を走り抜き、総走行距離を最も速いタイムで完走した選手を総合優勝とするものである。レースを数日間に分けて行うため、誰が現時点で総合のトップなのかを"リーダージャージ"着用義務によって示している。3つのジャージ着用者は、レース期間中は、走行時間、山岳ポイント、あるいはステージポイントにおいて現時点でトップであるということを示しているが、レース終了後の総合表彰式でこれらのジャージを与えられた選手は、各部門において、今大会最も優れた成績をあげたことを意味するのである。



● 個人総合時間賞

個人に授与される「ツール・ド・北海道」最高の賞。大会全レースの個人走破タイムの合計で競われ、優勝者にはチャンピオンジャージとメダルに加え、「北海道カップ」が大会最高の栄誉として授与される。

General Individual Classification by Time

This is the Tour de Hokkaido's highest individual award. The prize is presented based on individual riders' total times for the entire race. The winner will receive a champion's jersey, a medal and the Hokkaido Cup, as the most prestigious prize of the race.



● 個人総合ポイント賞

各ステージのホットスポット、フィニッシュ順位にポイントを設定し、全ステージでのポイント合計の最も高い選手に与えられる栄誉。優勝者にはチャンピオンジャージとカップが授与される。

General Individual Classification by Points

Points will be provided to riders based on Hot Spot and their placings in each stage. This prize is awarded to the individual rider with the highest total points. A champion's jersey and a cup will be presented to the winner.

The most prestigious prize of the race = General Individual Classification by Time Other two Individual Classifications and General Team Classification

The excellent achievements in Tour de Hokkaido will be honored by five prizes: General Individual Classification by Time, General Individual Classification by Points, General Individual Classification of the Best Hill-Climber, General Team Classification and U26 General Team Classification by Time. Among them, the General Individual Classification by Time is regarded as the highest honor given to an individual. In this stage race, the first-prize will be given to the rider who runs through all the stages, covering the total distance in the shortest time. Since the races are held over several days, the rider who leads the tour as of the previous stage must wear the "Leader Jersey" to identify his status. Those wearing the three jerseys show they are the tops in each classification, and those who are given such jerseys at the (Overall) Awards Ceremony on the last day are the riders with the greatest achievements in the Tour de Hokkaido.



● 個人総合山岳賞

山岳のスペシャリストに贈られる最高の栄誉。この賞は大会全コースの幾つかの峠や山岳路の頂上付近に設定された山岳ポイントの通過順位得点の合計で競われる。精神力、脚力ともに最も過酷な部門。優勝者にはチャンピオンジャージとカップが授与される。

General Individual Classification of the Best Hill-Climber (King of Mountains)

This is the top prize for hill climbers. The winner will be determined by total points based on the riders' placings when passing hill points established at several mountain passes and near the summits of mountain roads along the course. This award honors strong legs and mental strength. The winner will be presented with a champion's jersey and a cup.



SUBARU
Confidence in Motion

Sharpen your Emotions



尖鋭であること。艶やかであること。そこには大人の審美眼にかなう悦びが交差する。
研ぎ澄まされた質感が、あなたを奮わせる。

GT TOURER
LEVORG
STI Sport

1.6/2.0 STI Sport EyeSight Black Selection
[LEVORG 1.6/2.0 STI Sport EyeSight 特別仕様車]



1.6L DOHC 直噴ターボ "DIT" リニアトロニック AWD(常時全輪駆動)
メーカー希望小売価格 **3,564,000**円(消費税8%込)

2.0L DOHC 直噴ターボ "DIT" スポーツリニアトロニック AWD(常時全輪駆動)
メーカー希望小売価格 **4,050,000**円(消費税8%込)

PHOTO:2.0 STI Sport EyeSight Black Selection クリスタルホワイト・パール(32,400円高・消費税8%込) RECAROフロントシート+運転席8ウェイパワーシートはメーカー装着オプション。LEDアクセサリライナー、ナビゲーションシステムはディーラー装着オプション 写真は撮影用に点灯しています。写真はすべてイメージです。■RECARO®はRECARO Holding GmbHの登録商標です。●写真は印刷インクの種類上、実際の色とは異なって見えることがあります。●この仕様はお断りなく変更する場合があります。●詳細は店頭またはWEBでご確認ください。●記載価格はメーカー希望小売価格に消費税8%が含まれた総額表示です。●メーカー希望小売価格は参考価格です。販売価格は各販売店が独自に決めていますので、それぞれにお問い合わせください。●価格はタイヤパンク修理キットとタイヤ交換用工具を含む価格です。●価格にはオプションは含まれておりません。●リサイクル料金、税金(消費税を除く)、保険料、登録等に併う諸費用等は別途必要となります。●登録等に併う手続き代行費用については別途消費税が必要となります。



[SUBARU お客様センター] SUBARU コール 0120-052215 受付時間 9:00~17:00(平日)、土日祝は9:00~12:00、13:00~17:00
※平日の12:00~13:00及び土日祝は各インフォメーションサービスのみとなります。

https://www.subaru.jp/levorg/stisport_blackselection/

安心と愉しさを。SUBARU

主催	Organizers
公益財団法人ツール・ド・北海道協会	Tour de Hokkaido Association
公益財団法人日本自転車競技連盟	Japan Cycling Federation

後援	Supporters
国土交通省	Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
スポーツ庁	Japan Sports Agency
経済産業省	Ministry of Economy, Trade and Industry
北海道	Hokkaido Government
北海道市長会	Hokkaido Association of City Mayors
北海道町村会	Hokkaido association of towns and Villages
公益財団法人JKA	JKA
公益財団法人日本スポーツ協会	Japan Sport Association
公益財団法人日本オリンピック委員会	Japanese Olympic Committee
一般財団法人日本自転車普及協会	Bicycling Popularization Association of Japan
一般社団法人自転車協会	Bicycle Association
NHK札幌放送局	Sapporo Station of Broadcasting Corporation (NHK)
北海道テレビ放送株式会社	Hokkaido Television Broadcasting
北海道経済連合会	Hokkaido Economic Federation
一般社団法人北海道商工会議所連合会	Federation of Hokkaido Chamber of Commerce and Industry
公益社団法人北海道観光振興機構	Hokkaido Tourism Organization
一般社団法人北海道建設業協会	Associated General Constructors of Hokkaido Inc.,
一般社団法人北海道舗装事業協会	Hokkaido Pavement Association
一般社団法人日本道路建設業協会北海道支部	Japan Road Contractors Association Hokkaido branch
北海道アスファルト合材協会	Hokkaido Asphalt Mixture Association
一般社団法人北海道バス協会	Hokkaido Bus Association
公益社団法人北海道トラック協会	Hokkaido Truck Association

特別協力	Special Cooperating Organizaions
北海道新聞社	The Hokkaido Shimbun Press

協力	Cooperators
北海道開発局	Hokkaido Regional Development Bureau
北海道経済産業局	Hokkaido Bureau of Economy, Trade and Industry
旭川市	Asahikawa
東神楽町	Higashikagura
東川町	Higashikawa
美瑛町	Biei
上富良野町	Kamifurano
中富良野町	Nakafurano
富良野市	Furano
南富良野町	Minamifurano
新得町	Shintoku
帯広市	Obihiro
音更町	Otofuke
士幌町	Shihoro
上士幌町	Kamishihoro
上川町	Kamikawa

北見市	Kitami
訓子府町	Kunneppu
置戸町	Oketo
遠軽町	Engaru
愛別町	Aibetsu
当麻町	Tohma
公益財団法人北海道スポーツ協会	Hokkaido Sports Association
一般財団法人北海道交通安全協会	Hokkaido Traffic Safety Association
北海道自転車競技連盟	Hokkaido Cycling Federation
北海道自転車軽自動車商業協同組合	Hokkaido Commercial Cooperative of Bicycles and Light Cars
北海道自転車協会	Hokkaido Bicycle Association
北海道サイクリング協会	Hokkaido Cycling Association
特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会	Hokkaido Cross Country Skiing Association

特別協賛	Special Sponsors
株式会社NIPPO	NIPPO CORPORATION
株式会社ロイズコンフェクト	ROYCE' Confect Co., Ltd.
株式会社SUBARU	SUBARU CORPORATION

協賛各社	Sponsors
株式会社阿部商会	ABE SHOKAI LTD.
アマアスポーツジャパン株式会社	AMER SPORTS JAPAN, INC.
井上ゴム工業株式会社	Inoue Rubber Co., Ltd
IKEUCHI GROUP	IKEUCHI GROUP
ウェッジ株式会社	Wedge co. ltd
京極製氷株式会社	Kyogoku-Seihyo Company Ltd
サッポロビール株式会社	SAPPORO BREWERIES LTD.
株式会社JTB 北海道事業部	JTB Corp. Hokkaido Division
株式会社シマノ・シマノセールス株式会社	SHIMANO INC. and SHIMANO SALES INC.
パナソニックサイクルテック株式会社	Panasonic Cycle Technology Co., Ltd.
株式会社パールイズミ	Pearl Izumi, Inc.
株式会社マトリックス	MATRIX INC.
株式会社フォトクリエイト	Photocreate co., Ltd.

岩田地崎建設株式会社	IWATA CHIZAKI Inc.
協成建設株式会社	KYOSEI CONSTRUCTION INDUSTRY.INC.
大成建設株式会社	Taisei Corporation
道興建設株式会社	DOHKO KENSETSU Co., Ltd.
株式会社ドボク管理	Doboku Kanri
株式会社中山組	NAKAYAMAGUMI Co., Ltd.
日吉建設株式会社	Hiyoshi Kensetsu
菱中建設株式会社	Hishinaka Construction Co., Ltd.
北土建設株式会社	Hokudo Kensetsu



凡例 Legend	
S	スタート Start
HS	ホットスポット Hot spot
▲	山岳ポイント King of Mountain
I	補給所 Feed zone
F	フィニッシュ Finish

■ 2019スケジュール ~総走行距離541km~

■9月6日(金)開会式 旭川市総合防災センター駐車場特設会場<8:20~8:35>

[競技日程]

■9月6日(金)第1ステージ 185km (ロードレース) 旭川市~東神楽町~東川町~美瑛町~上富良野町~中富良野町~富良野市~南富良野町~新得町

スタート: 旭川市 総合防災センター<9:30>

フィニッシュ: 新得町 保健福祉センター<13:58~14:18ころ>

■9月7日(土)第2ステージ 174km (ロードレース) 帯広市~音更町~土幌町~上土幌町~上川町~北見市留辺薬町

スタート: 帯広市 帯広競馬場<9:30>

フィニッシュ: 北見市留辺薬町 旭運動公園<13:42~14:03ころ>

■9月8日(日)第3ステージ 182km (ロードレース) 北見市~訓子府町~置戸町~北見市留辺薬町~遠軽町~上川町~愛別町~当麻町

スタート: 北見市 市民温水プール<9:30>

フィニッシュ: 当麻町 とうまスポーツランド<13:52~14:13ころ>

■9月8日(日)最終表彰式 当麻町公民館「まとまーる」特設会場<15:00~16:00> (ステージ表彰含む)

Course Layout 2019

コースレイアウト 2019

「ツール・ド・北海道2019」は9月6日（金）から8日（日）までの3日間にわたり、ロードレースを開催する。昨年の大会は、開催前日の未明に発生した北海道胆振東部地震のため中止となった。大会の全日程が中止となったことは、長い歴史を持つ本大会の中でも初めてのことであるため、33回目となる今年の大会は、昨年競技することができなかった道北・道東地域の4市16町を巡るコースに再度挑戦する。

第1ステージは（9月6日）は、旭川市「総合防災センター」をスタートし、新得町「保健福祉センター」でフィニッシュする185kmのレース。

第2ステージ（9月7日）は、帯広市「帯広競馬場」をスタートし、北見市留辺蘂町「旭運動公園」でフィニッシュする174kmのレース。

最終日の第3ステージ（9月8日）は、北見市「市民温水プール」をスタートし、当麻町「とうまスポーツランド」でフィニッシュする182kmのレースを行う。

「北海道の屋根」と言われる大雪山系及び十勝岳連邦を舞台に、国内外から20チーム、100名の選手による総走行距離が541km、獲得標高が上り5,491m、下り5,354mとなる過酷な山岳レースが始まる。

Course Layout 2019

Running from September 6 to September 8, the 33rd edition of Tour de Hokkaido takes place including 20 municipalities (4 cities and 16 towns) in northern and eastern Hokkaido over 3 stages. Since the last edition had to be cancelled due to Hokkaido Eastern Iburi Earthquake occurred the day before Stage 1 for the first time that the whole race was cancelled in the long history of Tour de Hokkaido, the same route as last year will be applied to challenge again.

Stage 1 covers 185km including 2 cities and 7 towns from Asahikawa City (Disaster Prevention Center) to Shintoku Town (Health and Welfare Center).

Stage 2 covers 174km from Obihiro City (Obihiro Racecourse) to Kitami City Rubeshibe (Asahi Athletic Park) including 2 cities and 4 towns.

Stage 3, on the last day of Tour de Hokkaido 2019 starts from Kitami City (Public Swimming Pool) and finishes in Tohma Town (Tohma Sportsland) after passing through Engaru Town and Kamikawa Town.

100 riders of 20 inviting teams from home and abroad will participate this year.

Tour de Hokkaido 2019 with the total distance 541km featuring the part of Mt. Daisetsuzan range and Mt. Tokachidake mountains as the course (including elevation gain: 5,491m and elevation loss: 5,354m), is expected to be the most challenging mountainous race.

September 6 (Fri.) Opening Ceremony Disaster Prevention Center, Asahikawa City <8:30~9:00>

(UCI ME2.2)

September 6 (Fri.) Stage 1 : 185km (Road Race) Asahikawa City~Shintoku Town

Start : Disaster Prevention Center, Asahikawa City <9:30> / Finish : Health and Welfare Center, Shintoku Town <13:58~14:18>

September 7 (Sat.) Stage 2 : 174km (Road Race) Obihiro City~Kitami City

Start : Obihiro Racecourse, Obihiro City <9:30> / Finish : Asahi Athletic Park, Kitami City <13:42~14:03>

September 8 (Sun.) Stage 3 : 182km (Road Race) Kitami City~Tohma Town

Start : Public Swimming Pool, Kitami City <9:30> / Finish : Tohma Sportsland, Tohma Town <13:52~14:13>

Awards Ceremony and Overall Awards Ceremony Tohma Community Center "Matomaaru", TohmaTown <15:00~16:00>

NIPPO - ヴィーニ ファンティーニ - ファイザネ (イタリア)

NIPPO-VINI FANTINI-FAIZANE' (ITALY) / NIP

日本企業のNIPPOがメインスポンサーを務めるイタリア籍プロコンチネンタルチーム。今季はジロ・デ・イタリアで悲願の区間優勝を達成。レースの本場欧州に拠点をおき、世界を目指す日本人選手をサポートし続けている。

Professional Continental team, NIPPO-VINI FANTINI- FAIZANE', the Italian-Japanese collaboration team, mainly sponsored by NIPPO CORPORATION, has fulfilled its long-cherished wish, stage victory of Giro d'Italia this year while supporting to develop Japanese riders who challenge for the world level.



トレンガヌ INC.TSG サイクリングチーム (マレーシア)

TERENGGANU INC. TSG CYCLING TEAM (MALAYSIA) / TSG

TERENGGANU INC. TSG CYCLING TEAMは、2011年にマレーシアトレンガヌ州政府とPro-Asia Sports Managementにより設立。チームの目標は、世界レベルで戦える地元の次世代育成およびトレンガヌ州の認知度を世界的に広めること。チーム設立以来8年連続東南アジアでは1位、またUCI Asia Tourにおいても常に上位に位置し、2012年にはチーム史上初UCI Asia Tourで1位を記録、また2018年にはTour de Langkawiの総合優勝など活躍を続けている。

TERENGGANU INC. TSG CYCLING TEAM (TSG) was established in 2011 by Terengganu State Government and Pro-Asia Sports Management. The goal of TSG was to develop the next generation of Terengganu cycling talents to compete at highest international level as well as promoting Terengganu state globally. Since the team's establishment, TSG has been the number 1 team from SE Asia for 8 years in a row. In 2012, TSG made history by becoming the number one overall ranked team in UCI Asia Tour. In 2018, TSG made another monumental history by winning the overall classification in the prestigious Le Tour de Langkawi.



HKSI プロサイクリングチーム (香港)

HKSI PRO CYCLING TEAM (HONG KONG) / HKS

HKSI PRO CYCLING TEAMは、タイムトライアルをはじめ登坂、スプリントなど得意分野の異なる経験豊富な選手で構成され、2009年の設立以来皆同じゴールを見据えて香港と中国でトレーニングに取り組んでいる。所属選手の殆どが若手にも関わらず、アジアツアー内で素晴らしいパフォーマンスを見せ続けている。アジア各国を転戦することで地形や気候にも精通し、抜群のチームワークを生かした戦略でレースを走り切る。

HKSI PRO CYCLING TEAM is composed of well-trained and experienced riders with different talents for climbing, putting on a sprint as well as time trialing. All the riders usually take part in the training in Hong Kong and China and have worked together since 2009 with great team spirit and sharing the same goal. Even though most of teammates are young, they are frequent riders in Asia Tour with outstanding performance. Therefore, our team is familiar with geographic characteristic and the climate in different Asian countries. Furthermore, our team supported each other well in each race and has successfully carried out the strategies until the completion of the races.



LX サイクリングチーム (大韓民国)

LX CYCLING TEAM (KOREA) / LXC

2006年に創立し、2016年からUCIコンチネンタルチームとして登録。元アジアロードチャンピオンをはじめとする経験豊富で有望な選手構成で挑む。

LX CYCLING TEAM has registered as UCI continental team since 2016. The team consists of experienced and talented riders including former Asia Road Champion.



ワイルドライフジェネレーションプロサイクリング P/B MAXXIS (アメリカ)

WILDLIFE GENERATION PRO CYCLING P/B MAXXIS (UNITED STATES OF AMERICA)/ WGC

U25のプロ自転車チームとして、今後3年間は年間平均75日間を北アメリカからアジアのレースをメインに活動予定。野生生物保護をチームメッセージとして掲げている。

As an U25 professional cycling team, WILDLIFE GENERATION PRO CYCLING P/B MAXXIS, plans to race an average of 75 days per year from North America to Asia, for next three years. The team message is to conserve and protect wildlife.



セントジョージ コンチネンタル サイクリングチーム (オーストラリア)

ST. GEORGE CONTINENTAL CYCLING TEAM (AUSTRALIA)/ STG

セントジョージコンチネンタルサイクリングチームは、セントジョージサイクリングクラブハイパフォーマンスプログラムの一部として2012年に設立され、国内レース中心に参戦した後、2015年にUCIアジアツアーの大会に出場の機会を得たことが、現実的に進歩し続ける道筋となった。そして2016年以来、UCIコンチネンタル登録により、世界レベルのUCIアジアツアーレースにおいてチームの存在感を示すことが可能となった。

ST GEORGE CONTINENTAL CYCLING TEAM is an established competitive cycling team that is a part of the St George Cycling Club High Performance Program. Founded in 2012, the team had a primary focus on development through participation in the National Road Series. In 2015, following three successive years of development, the opportunity to race as a part of the UCI Asian Continental Circuit became a realistic pathway for continued progression. This Continental Licence has enabled the Team to participate on the UCI Asian Tour since 2016 to the present day enabling our riders exposure on the world stage.



愛三工業レーシングチーム

AISAN RACING TEAM / AIS

「グローバルな環境で活躍できる日本人の育成」"From JAPAN to ASIA, From ASIA to the WORLD"グローバルな環境で挑戦できる活動を続けます。チームの目標は、UCIアジアツアーを転戦して、UCIポイントの獲得をすることです。UCIポイントを獲得することで、UCIチームランキングと個人ランキングの上位を目指します。そうすることで選手たちの世界的価値を高めることと共に、オリンピックや世界選手権の出場枠を獲得することにもつなげます。そして2020年に開催する東京オリンピックでの日本人選手の活躍を視野に入れ、日本ナショナルチームから必要とされる人材を育てると共に、今まで通り日本人選手・スタッフが一枚岩で活躍できる環境整備にも協力していきます。

"From JAPAN to ASIA, From ASIA to the WORLD". AISAN RACING TEAM has been dedicating to provide the global environment with the riders to focus on UCI Asia Tour to win as many UCI points as possible to move up in UCI rankings both in team and individual which leads to secure the qualification of the World Championships and Tokyo Olympic games. The team also supports to help establish the better environment to strengthen of the team staffs' development.



キナンサイクリングチーム

KINAN CYCLING TEAM / KIN

キナンサイクリングチームは、和歌山県に本社を構える株式会社キナンをメインスポンサーとし、国内外でのレース活動を主とした自転車ロードレースチームです。地元の和歌山県、三重県にまたがる熊野地域で毎年行われるUCI(国際自転車競技連合)公認の国際ロードレース「Tour de 熊野」での優勝とレースイベントの成長を最大の目標とし、それにより熊野地域への貢献、地域活性化、スポーツ振興、自転車文化の発展に尽力していきます。また、もう一つの活動拠点、愛知県を中心に行われるレース KINAN COUPE DE AACA (通称AACAカップ)では、若手選手の育成や東海地区でのレースイベント活性化と発展に協力していきます。

KINAN CYCLING TEAM, sponsored by KINAN Co., LTD., based in Wakayama Pref., is the road racing team for both home and abroad. The team's ultimate goal is to win UCI race "Tour de Kumano" held in their hometown as well as trying to make contributions to the community and promote to develop the local cycling culture.



マトリックスパワータグ

MATRIX POWERTAG / MTR

アクティブ型ICタグの開発・製造・販売を行う株式会社マトリックスがメインスポンサーで、大阪府高石市を拠点とし監督を筆頭にイケメンが揃ったチーム。今年から2005年ツール・ド・フランス個人総合4位の実績をもつ「フランシスコ・マンセボ」や混迷のベネズエラの星「オールイス・アウラル」は2020年東京五輪のベネズエラ代表候補でもある強力なスプリンター、ベテランの「狩野智也」や「小森亮平」の4名が新加入。新たな強力メンバーによって熱き戦いを繰り広げ、暴れまわります!

Based in Takaishi City, Osaka and with MATRIX INC. the company of development, manufacturing and sales of active IC tags as the main sponsor, the team of this season is ready for the exciting battle with the strong and experienced lineup including the former Tour de France contendor, Francisco MANCEBO.



那須ブラーゼン

NASU BLASEN / NAS

那須ブラーゼンは、日本初の観光地での地域密着型ロードレースチームです。レース活動としては国内最高峰のシリーズ戦であるJBCFロードレースシリーズ「J PRO TOUR」(全日本実業団自転車競技連盟主催)を主戦場とします。そして、シリーズ戦の優勝を目指すと共に那須に生まれたチームとして『那須=自転車』のイメージ構築、自転車による那須地域の活性化・健康・観光、そして自転車の振興・普及に寄与していき地域に根差し、愛され、貢献するチームを目指します。

As the first community-based cycle road team based in tourist destination in Japan, NASU BLASEN mainly participate in JBCF road series "J PRO TOUR". The team also aims to revitalize Nasu region as "the town of the bicycle", through contributing to local health and tourism by promoting cycling to local people.



シマノレーシングチーム

SHIMANO RACING TEAM / SMN

1973年のチーム立ち上げ以来、45年の歴史を数える伝統のチーム。過去、多くの日本チャンピオンやオリンピック代表選手を輩出してきた。時代と共に活動を変化させてきたが、より高い場所を目指す姿勢が変わることは無い。近年は『世界トップレベルで活躍する選手育成』という目的を掲げ活動を継続し、東京五輪も視野に活動する。

As one of the most prestigious teams in Japan with 45-year history, SHIMANO RACING TEAM has produced many remarkable riders since its foundation in 1973. In recent years, the team has been focusing on developing young talented riders to challenge for the world level targeting Tokyo Olympic Games.



チームブリヂストンサイクリング

TEAM BRIDGESTONE CYCLING / BGT

1964年設立からブリヂストンサイクル自転車競技部として、アスリートの育成・強化を実施。2018年、東京2020オリンピック・パラリンピックで表彰台を目標に「TEAM BRIDGESTONE Cycling」とチーム名を変更。今年は本社のある埼玉県上尾市から東京2020オリンピック・パラリンピックの自転車競技開催地にも近い、静岡県三島市に活動の拠点を移し始動。スピードに自信のある選手が多く、「断トツの日本一」を目指します。

With the long history of developing and enhancing the athletes since the establishment as "Bridgestone Cycle Racing Team" in 1964, the team has changed its name into "TEAM BRIDGESTONE CYCLING" last year and relocate the main base from Ageo City in Saitama Pref. to Mishima City in Shizuoka Pref., where Tokyo 2020 Olympic and Paralympic venue of cycling is included. The team consists of many sprinters who aim to be "runaway leader in Japan".



チーム右京

TEAM UKYO / UKO

Team UKYOは、元F1ドライバーの片山右京が2012年に結成したUCIコンチネンタルチームです。本拠地は神奈川県相模原市。日本人6名、スペイン人1名、オランダ人1名、オーストラリア人2名の計10名からなり、2017年ロード日本チャンピオンの畑中勇介や2019年ロードU23日本チャンピオン武山晃輔、2018年ツール・ド・台湾個人総合優勝のプラデス・ベンジャミ、2019年ツール・ド・とちぎ個人総合優勝のレイモンド・クレダー等が所属しています。

UCI continental team, TEAM UKYO has been founded in Sagami-hara City, Kanagawa Prefecture by former F1 driver, Ukyo KATAYAMA in 2012. The team consists of 6 Japanese, 1 Spanish, 1 Dutch and 1 Australian riders including 2017 National Road Champion HATANAKA Yusuke, 2019 National Road U23 champion TAKEYAMA Kosuke, Benjami PRADES who won GC of Tour de Taiwan 2018, and Tour de Tochigi GC winner, Raymond KREDER.



宇都宮ブリッツェン

UTSUNOMIYA BLITZEN / BLZ

宇都宮ブリッツェンは、栃木県宇都宮市を拠点にプロロードレースへの参戦、自転車を通じたスポーツ教育や安全への啓蒙活動、地域活性化活動などを行う日本初の地域密着型プロサイクルロードレースチームとして誕生しました。国内最高峰のシリーズ戦「Jプロツアー」や、日本国内のUCI(国際自転車競技連合)公認ロードレースを主戦場として勝利を目指すことはもちろん、日本国内においてサイクルロードレースをプロスポーツとして認知、定着化させることを究極の目標に掲げております。今シーズンも、アグレッシブに勝利を目指します。

Founded with the concept as the first community-based pro cycle road team in Japan, UTSUNOMIYA BLITZEN's ultimate goal is to increase and establish the visibility of the cycle road race as professional sports in the country as well as participating in the tour of home and abroad seeking for the victory aggressively.



北海道地域選抜

SELECTED HOKKAIDO

第1回大会から参加している地元北海道チーム。北海道を拠点として活動中の選手から、毎年予選で選考された選手で構成される。選抜チームでの本大会出場が、北海道内選手の目標であり、選手育成に一役を担っている。

SELECTED HOKKAIDO, consisting of local riders survived from qualifying race, has been participating in Tour de Hokkaido since the first edition. To take part in Tour de Hokkaido as the member of this team is the big motivation for riders in Hokkaido while it plays significant role to develop them.



日本大学

NIHON UNIVERSITY

競技活動と学業との両立を第一に早朝4時30分からの朝練習をメインとして、大学授業への出席を最優先している。卒業生として全国に数多くの指導者、プロ選手を輩出している。

Setting balancing competition activity and study as the priority, NIHON UNIVERSITY Cycling Club manage to attend classes by moving the main training time to early morning. The club has produced many professional riders as well as many educators since its foundation.



中央大学

CHUO UNIVERSITY

昭和28年に設立された伝統あるチーム。今年は、昨年国体個人ロードレース優勝の奥村十夢、ナショナルチームで活躍する尾形尚彦、山本哲央、トラックレースでの実績とスピードが持ち味の1年生ルーキー馬越裕之、極限の状態でも粘れる水野慎人を率いたメンバーで総合上位を目指す。

CHUO UNIVERSITY BICYCLE CLUB has over 60-year tradition since its foundation. The team consists of well-balanced talented riders including rookies who will challenge for the upper ranking in General Classification.



京都産業大学

KYOTO SANGYO UNIVERSITY

大学生推薦枠3位での出場。藤田俊輔と小出樹の2名で、個人総合上位を目指す。トラックレースで培ったスピードを生かした積極的な走りを強みとする。

Winning the invitation as the 3rd of university recommended ranking, KYOTO SANGYO UNIVERSITY with Shunsuke FUJITA and Itsuki KOIDE as leaders, aims at aggressive and speedy performance developed through track races.



日本体育大学

NIPPON SPORT SCIENCE UNIVERSITY

ロード班結成4年目、先輩方からの目標の大会に初出場。未体験ゾーンでのレースで、持ち味の攻めの走りで総合順位、各賞ポイント獲得を目指す。

NIPPON SPORT SCIENCE UNIVERSITY makes a debut at Tour de Hokkaido, the target competition since its foundation of road race team four years ago. The team will challenge for the classifications with its characteristic performance with aggressiveness.



明治大学

MEIJI UNIVERSITY

3年ぶり7回目の参加。今回は大雪山系をめぐるハードなコースで貴重なレース経験を得られることを楽しみつつ、ご支援・応援いただいている方々の期待に応え、元気を与えられるよう学生らしい走りで全員完走とチーム成績上位を目指す。

It is the seventh times for MEIJI UNIVERSITY to participate in Tour de Hokkaido after an interval of three years. Their goal is to complete the race with good results in team classification while enjoying the valuable experience of tough course around Daisetsu mountains.



Panasonic

30年以上続く日本製
オーダーバイクをあなたへ。



パナソニック サイクルテック株式会社
<https://cycle.panasonic.com>

- 商品に関する、お客様ご相談窓口 0120-781-603(通話無料) 営業時間/9:00~18:00
- 上記の番号がご利用いただけない場合 072-977-1603(有料)
- 〒582-8501 大阪府柏原市片山町13番13号

FRTD03



作り手であり、使い手である。

着心地、肌触り。人の手でしか辿り着けない感性の領域にまで妥協を許さない。
作り手であると同時に、使い手である私たちにしかできないモノづくりがある。
サイクリストが肌で感じる感覚を追い求めたそのウェアは
世界のトップアスリートと磨き上げられ、あなたが手にする1着へと昇華する。



www.facebook.com/pearlizumi.jp/



twitter.com/pearlizumi_jp



[instagram.com/pearlizumijapan](https://www.instagram.com/pearlizumijapan)

RIDE ON TOGETHER

株式会社パールイズミ 〒130-0026 東京都墨田区両国2-4-2 Tel: 03-3633-7556 Fax: 03-3633-5464
お客様相談窓口 Tel: 03-6825-3450 [平日 9:00~12:00 / 13:00~17:00 (土・日・祝日・年末年始・夏季休暇を除く)]

www.pearlizumi.co.jp



PEARL IZUMI

ツール・ド・北海道を より楽しむための **基礎知識**

ツール・ド・北海道は1987年に始まり、北海道の雄大な自然の中を、公道を使用して町から町へと巡る本格的な自転車ステージレースである。

1991年の第5回大会に韓国、アイルランドが海外チームとして初参加し、1997年の第11回大会にUCI公認の国際大会として承認されてから、今年で23年目を迎える。

世界的に有名なツール・ド・フランスは、フランスおよび周辺国を舞台としたレースであり、ツール・ド・北海道はその日本版と言えるだろう。

そのツール・ド・フランスには、1996年に今中大介選手、2009年に新城幸也選手と別部史之選手が出場している。その後、新城選手は通算7回の出場を果たしており、近い将来には多くの日本チームや選手が活躍するであろう。その登竜門と言えるのがツール・ド・北海道のステージレースである。

カラフルなウェアをまとい、輝きながら近づいてくる銀輪集団のスピードは 平均時速40km以上の速さとなる。そして、選手達とともに通り過ぎる風を感じながら、その迫力あるスピード感はそこでしか味わえないものである。

Tour de Hokkaido has been the full-scale town-to town style road race held on public road in nature since its first edition in 1987 and it has also been 23 years as an UCI-sanctioned international race fulfilling the role as the gateway to the world. We can say that Tour de Hokkaido is sort of Japanese version of Tour de France which started in 1903. In fact, many world-class Japanese riders like Daisuke IMANAKA, Yukiya ARASHIRO and Fumiyuki BEPPU used to participate in Tour de Hokkaido before stepping up to ride in Tour de France which Arashiro have participated 7 times so far. In cycle road race, you can enjoy the vision of peloton with colorful gear and shiny wheels, and their speedy performance with aggressiveness which the cycle road race can only provide.

①ゼッケン

最初は所属する選手のうち、前年の個人成績が最もいい選手の順位を抽出し、チーム順を決める。移籍した場合は今年の所属チームにその権利が与えられる。チームエースを下ひとケタ1番にするが、厳密な規定はない。

Race Numbers

The order of participating team is determined by taking into consideration of the previous season's results. In case of transferring the team, riders will carry points to their new team. The team leader tends to be given final digit "1" of the race number.



②総合優勝

ステージレースは数日間にわたって各区間を走り抜き、総走行距離を最も早いタイムで完走した選手を総合優勝とするものである。チームエースを勝たせるために高度な戦略を取って戦い、各チームは総合優勝をねらうエースと、それを援護するアシスト役に分業、チームが一丸となって戦っているのが自転車レースの魅力である。マラカイトグリーン（Malachite Green）のジャージを着て走るのがその時点でのリーダーであり、その他、青色のポイントジャージと赤色の山岳ジャージがある。

General Individual Time Classification

It is awarded to the rider with the shortest overall time for all the stages added together, the rider who has covered the course faster than anyone else. Other riders totally dedicate to assist their team leader. In Tour de Hokkaido, you can recognize the leaders by jersey colors: Green: GC, Blue: Points, and Red: KOM



③補給所

長丁場のレースを走り抜くためには欠かせないのが補給所である。原則 150km以上のステージには補給地点を設定し、選手に好みに応じた食料等の補給を行う。補給スタッフはチームの役員が担当、スタート前に先行して補給地点に向かう。選手は走りながら食料やボトルを入れたサコッシュを受取る。

Feed Zone

Feed zone must be installed in the stage longer than 150 km according to UCI regulations. Each team staff get there in ahead of time to supply their riders sufficient food and drink when riders passing by there. Riders slightly slow down to grab the bag of food and drink prepared by the team staff.



④タイムオーバー

ステージ難度に応じて制限タイムが算出され、それをオーバーした選手が失格となる。たとえば区間優勝者の平均速度の6%とか、山岳ステージでは14%が制限タイムとなるが、気象状況や不測の事態などが考慮されて救済される場合もある。ツール・ド・北海道の特別規則で北海道においては、交通事情を考慮して先頭選手が通過してから20分でオーバータイムとして選手が失格となる。もちろんフィニッシュにおいても区間優勝選手から20分を過ぎると失格となる。

Finishing time limit

In general, finishing deadline is decided depending on the characteristics of the stage. The riders who are past this time limit will be eliminated from the race, except for the bad weather condition or unpredictable accidents. The specific regulations of Tour de Hokkaido set the finishing deadline in accordance with the traffic situation in Hokkaido: In case of more than 20 minutes delay from the leading rider, the riders will be eliminated from the race.

⑤ドーピングコントロール

各ステージのフィニッシュ地点に対象選手のゼッケンが提示され、ドーピングコントロールが行われる。不正薬物が検出されたら、記録が抹消され制裁をも加えられる。また、シーズンを通して抜き打ち検査も行われることもある。

Doping control

Doping control is conducted after each stage. The riders concerned will be notified in person by the chaperon right after crossing the finish line and their numbers are posted at finish area. In case of violation, they are not only penalized also their records will be deleted. Some athletes even get out-of-competition testing without any notice during season.

⑥隊列および随行車両関係

キャラバン編成表を見れば多くの車両が随行していることがわかる。広報車やパトカーに挟まれた部分に、本部車、審判車、チームカー（各チーム1台）、共通機材車や救護車で選手の前後に位置しサポートする。また、タイムオーバーした選手は、後方関門車の指示で選手収容車に収容する。

Race Vehicles

The chart of the race caravan shows that various race vehicles (organizer, commissaries, team, neutral service, doctor, ambulance etc.) are allocated during the race for each task to support the riders. The riders who are behind the finishing time limit are picked up by the broom wagon.



⑦エースとアシスト

ステージレースでは、各チームはエースを勝たせるための作戦をもってレースに臨む。競技の運営も、チームカーを配置するなどチーム全体としてのサポートを前提とした運営がなされる。チームの中で、優勝を狙うエースと、それを色々な場面でサポートするアシスト（エース以外の選手）に明確に役割分担がなされている訳である。アシストは、ある時は風除けになり、また集団の中でのトラブルからエースを守り、また他チームの選手が先行すれば、それを追走して集団から差がつかないように、適宜対応する。またエースも、峠や終盤などでチャンスがあれば自ら先行して、他チームのエースとのタイム差を広げる。

Riders' task: Ace and Assist

Race strategy of each team is the highlight of the stage race. Assist riders devote themselves flexibly to support and promote their leaders' chances. They would be the windshield to protect him or follow the other teams to close the gap between the groups.

⑧選手の位置取りに注目！

自転車ロードレースは「高速」で走るので風圧を強く受ける。時速40kmで走るということは、毎秒11mの強い逆風の中にあることと同じことである。その風圧にどうやって立ち向かうかが、ロードレースの大きなポイントになる。前を走る選手の車輪に接するように走れば、風圧の影響は大幅に減少する。そこで選手は、通常は集団の中で一人で風を受けることの無いように走る。集団で走っている場合、先頭の選手が入れ替わるのは、風圧の負担を交互に受けるためである。これを先頭交代という。しかし、それだけでは他の選手に差をつけることはできない。このため逃げ切ってタイム差をつけるため、あるいは（全体のペースをあげるなど）作戦上、集団から先行することがある。これが、チーム間の駆け引きである。

Pay attention to the position of the riders

Wind pressure is the big issue in cycle road race. The way to deal with the wind would decide the race. In order to avoid the wind pressure, the teams often cooperate and ride in a line changing the front riders while protecting the leaders in the back of the peloton. Of course, each team waits for the right time to attack.

⑨ロードレースはチームプレー

平地では、いかに集団の中で風圧を避けて体力を温存し、最後の瞬発力で争うのか、あるいは一人で風を受けるリスクを負ってでも集団（他の有力選手）から先行して差をつけるのが、重要な選択となる。そうした選手の心理を推測するのも興味深いところである。チームのエースは、多くの場合、集団の中で自チームの選手に守られて走る。その状況において先行する機を窺い集団から先行して逃げることはあっても、決して集団の先頭を走ることではない。こうした点が自転車のロードレースとマラソン等他の競技との決定的な違いである。

Team Strategy

In general, while the assist riders are riding in front of the peloton, the team leader is staying in the back to save enough energy to be ready for the sprint for utilizing any chance.

While the principle remains of the winner being the first to cross the line, many of the riders are grouped together in teams. The choice will depend on the situation. Cycle road race doesn't follow the typical format of most other sports.



⑩レースの見所、観戦ポイント

チームの作戦などを見極めるのは大変だが、カラフルなウエアを参考に判断するのも見所、観戦ポイントである。リーダージャージを着用する選手がどこにいるのか、その周辺にいる同じチームの選手がどういう動きをしているのか、レースの焦点となる。

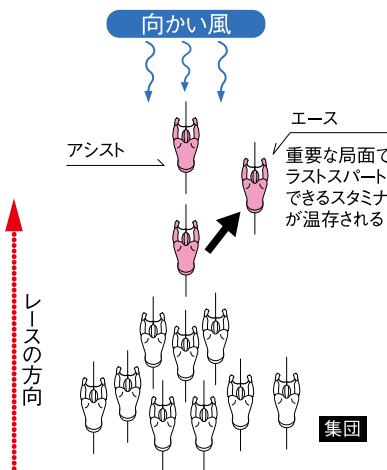
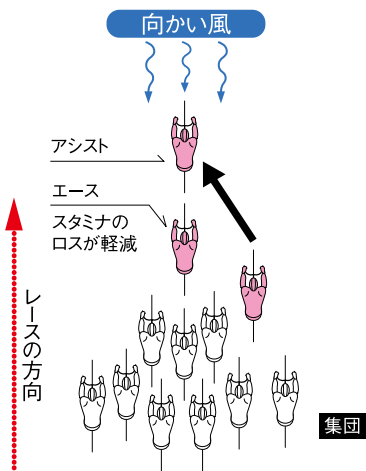
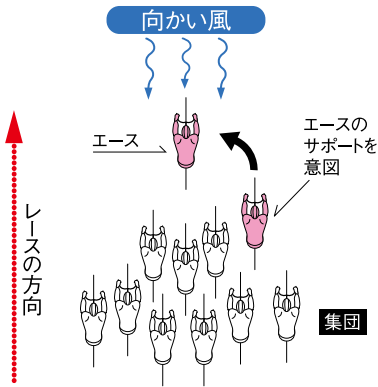
Tips to enjoy the race

When watching the race, you can focus on the riders wearing each classification jersey. If you spot them, you can also see their team tactics going on around them.

1

味方エースの向かい風を軽減させるアシスト。

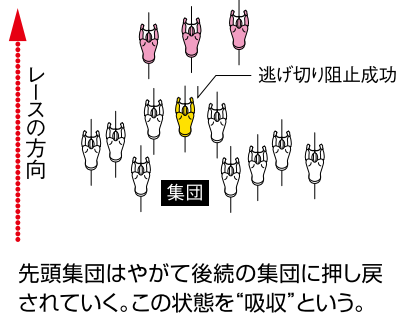
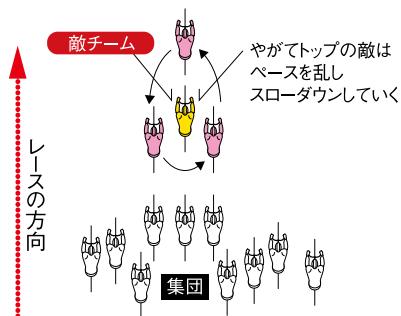
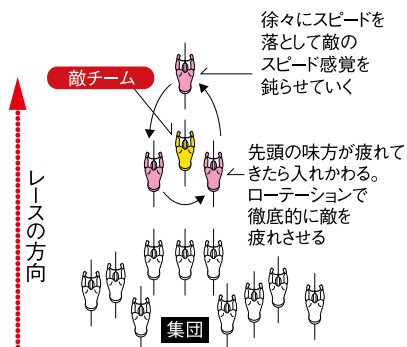
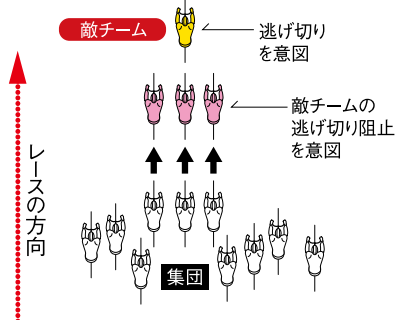
彼の仕事は、味方エースのスタミナのロスを少しでも軽減させることである。長い距離でもあるので、アシストがあるのとないのでは、大きな差がでる。



2

包囲網を形成し、敵チームのスローダウンを狙うフォーメーション。

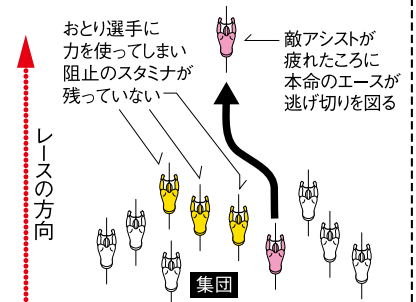
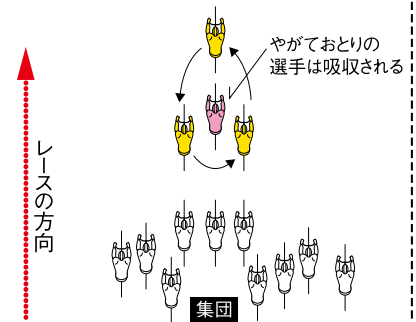
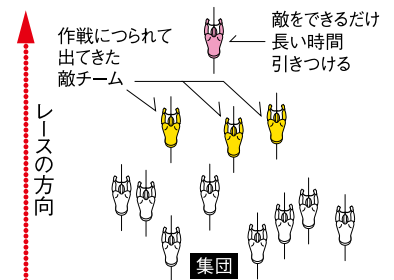
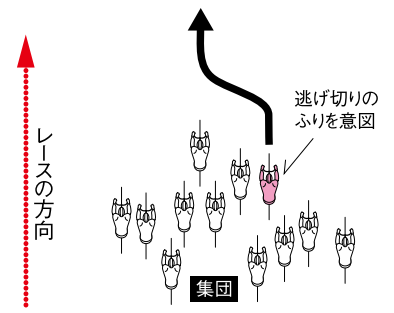
彼らの目的は、敵の先行逃げ切り型の作戦を阻止することである。敵チームの前に出ながら、気づかれぬようにスピードダウンし敵のスピード感覚を徐々に乱していくのである。敵チームとしても、しつこく包囲されることによって、精神的にもキツイ状態に追い込まれていく。



3

敵チームのスタミナ配分を乱す作戦。

彼の目的は、トップでゴールインすることではなく、1位を狙う選手のスタミナ配分を狂わせ、結果的に味方チームのエースが計算通りに走れるようにすることである。



第1、第2、第3ステージ(スタート時のパレード区間) Stage 1,2,3(Parade section at the start)

←進行方向
Direction
of progress

1



先行誘導パトカー
Lead Police car

2

スピーカー



先頭広報車
Public information car

3



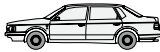
共通報道車
Press vehicle

4



規制予告パトカー
Police car for advance notice of traffic restrictions

5



本部車No.1
Guests No.1

6



本部車No.2
Guests No.2

7



先導パトカー
Escort police car

8



カメラオートバイ
Camera motorcycle

9



共通機材車
Neutral service motorcycle

10~11



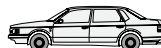
共通機材車(2)
Neutral service vehicle (2)

12~13



オートバイエスコート(2)
Motorcycle Escort (2)

14



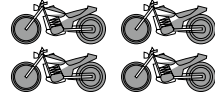
本部車No.3
Guests No.3

15



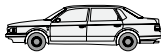
レースディレクター車
Event Director's Car

16~19

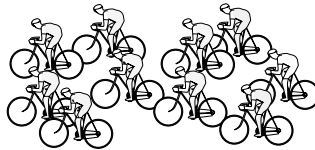


審判オートバイ(4)
Commissaire's motorcycle (4)

20
COM2



第2コミセール車
Deputy Chief Commissaire's car



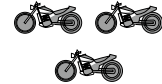
(選手団)
Riders

21
COM1



チーフコミセール車
Chief Commissaire's car

22~24



審判オートバイ(3)
Commissaire's motorcycle (3)

25~31



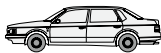
オートバイエスコート(7)
Motorcycle Escort (7)

32



TVオートバイ
TV motorcycles

33



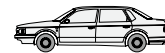
ドクターカー
Doctor's car

34



共通機材車
Neutral service vehicle

35
COM3



第3コミセール車
Commissaire's car No.3

36~55



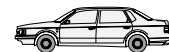
チームカー(20)
Team cars (20)

56



審判オートバイ
Commissaire's motorcycle

57
COM4



第4コミセール車
Commissaire's car No.4

58~59
スピーカー



救護車
Ambulance

60



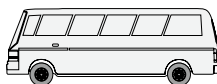
関門審判車
Mobile relay car

61



規制解除パトカー
(後押パトカー)
Police car for lifting traffic restrictions
(Police car at the rear)

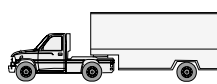
62
大型バス



選手収容車
Sag-wagon

63

4tコンテナトラック



自転車収容車
Bicycle pick-up vehicle

64



後方広報車
(終了周知車)
Public information car at the rear

STAGE 1

9/6 金

第1ステージ 185km (ロードレース)

■第1ステージ日程表 / Schedule

スタート：旭川市 総合防災センター前<9:30>
フィニッシュ：新得町 保健福祉センター前<13:58~14:18ころ>
表彰式：新得町 役場駐車場特設会場<14:30~15:00>

Start : Disaster Prevention Center, Asahikawa City <9:30>
Finish : Health and Welfare Center, Shintoku Town <13:59~14:18>
Awards Ceremony : Parking lot of Shintoku Town Hall, Shintoku Town <14:30~15:00>

September 6 (Fri.) Stage 1 : 185km (Road Race) Asahikawa City ~ Shintoku Town



交通アクセス (Access)

スタート地点：旭川市 総合防災センター

バス ... 旭川電気軌道バス (67・70・75・76・84番乗車)
「旭川駅」から「ひじり野1条5丁目」下車800m 徒歩10分

タクシー ... 「JR旭川駅」周辺から7km 20分
「JR札幌駅」周辺から道央自動車道経由145km 2時間15分

電車 ... 「JR札幌駅」から「JR旭川駅」(最短) 1時間25分

フィニッシュ地点：新得町 保健福祉センター前

徒歩 ... 「JR新得駅」から650m 徒歩8分

タクシー ... 「JR帯広駅」から43km 55分
「とち帯広空港」から65km 1時間

電車 ... 「JR帯広駅」からJR新得駅 (最短) 28分
「JR札幌駅」からJR新得駅 (最短) 2時間5分

Start : Disaster Prevention Center, Asahikawa City

バス ... From Asahikawa sta. (Asahikawa Denkikido Bus No. 67, 70, 75, 76 and 84)
... Get off at "Hijirino 1-jo 5-chome" and 10-min. walk (800 m)

タクシー ... From JR Asahikawa sta. ... 20 min. (7 km)
From JR Sapporo sta. (thru Doo Expressway) ... 2h 15min. (145km)

電車 ... From JR Sapporo sta. to JR Asahikawa sta. ... 1h 25min.

Finish : Health and Welfare Center, Shintoku Town

徒歩 ... JR Shintoku sta. ... 8min. (650m)

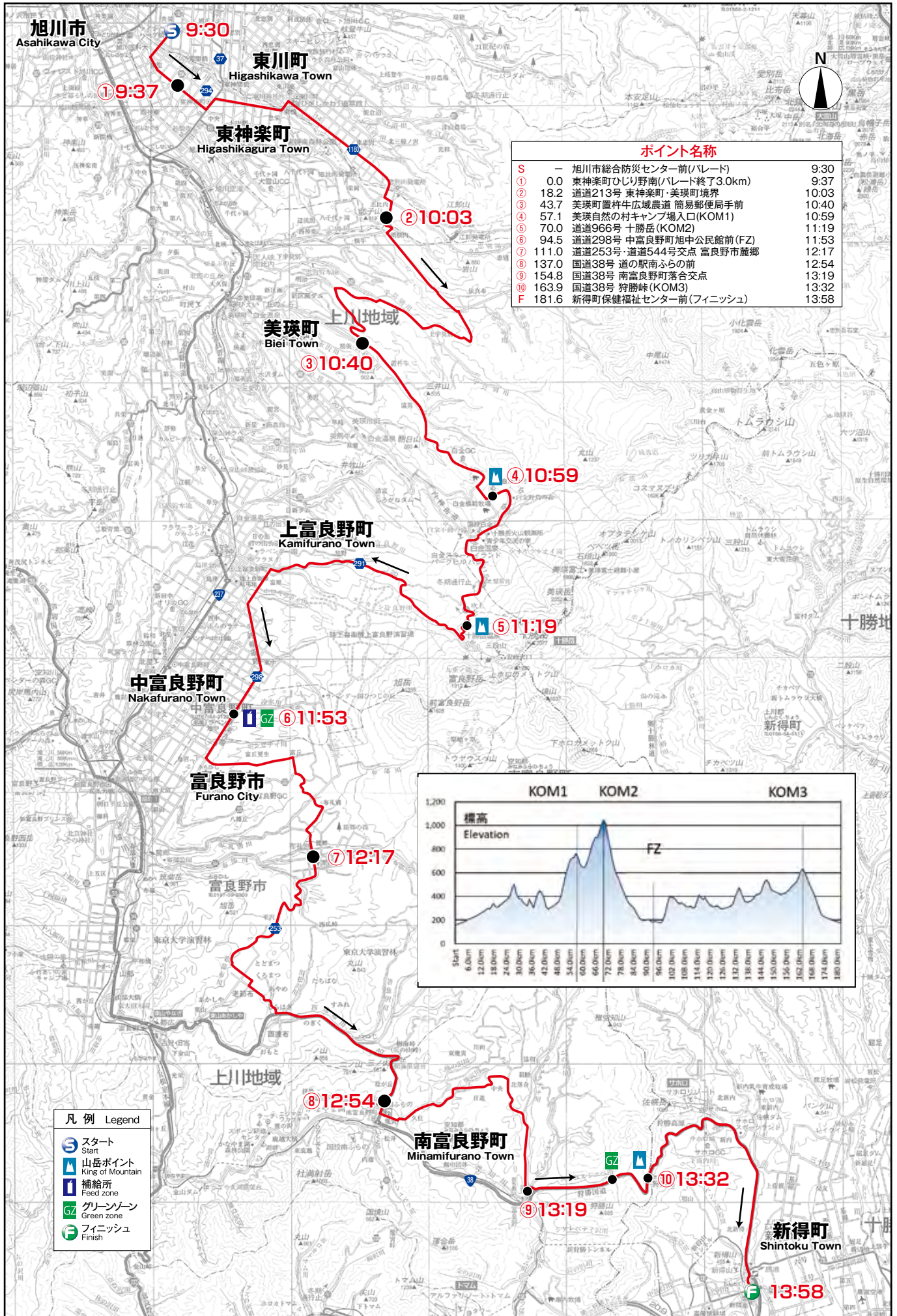
タクシー ... From JR Obihiro sta. ... 55 min. (43 km)
From Tokachi Obihiro Airport ... 1h (65 km)

電車 ... From JR Obihiro sta. to JR Shintoku sta. ... 28 min.
From JR Sapporo sta. to JR Shintoku sta. ... 2h 5 min.

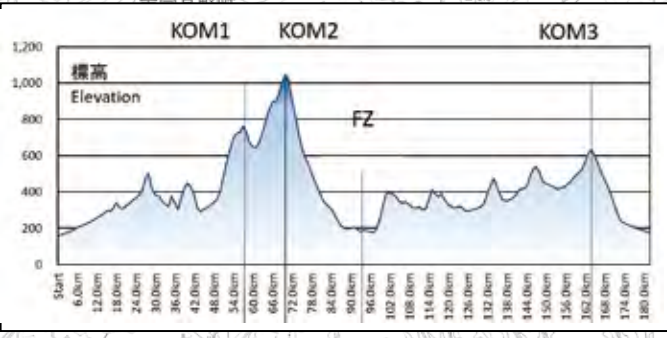
9時30分に旭川市総合防災センターを出発し、東神楽町までのパレード走行を終えた3km地点がリアルスタートとなり、ツール・ド・北海道が開幕します。その後、東川町から美瑛町に向かい、美瑛自然の村キャンプ場入口KOM (KOM1: 766m) で最初の山岳ポイントを争います。続けて十勝岳連峰主峰の十勝岳の中腹で今大会最初の難所、十勝岳KOM (KOM2: 1,050m) で2回目の山岳ポイントを競ったあとは、上富良野町に向けて峠を一気に駆け下り、中富良野町、富良野市、南富良野町の美しい丘陵地帯から狩勝峠に向かいます。途中、狩勝峠KOM (KOM3: 642m) で本ステージ3回目の山岳ポイントを競い、新得町保健福祉センター前でフィニッシュします。第1ステージは総走行距離185kmとなる本大会最長のコースであり、標高1,000mを超える十勝岳KOMが序盤に設定されており、選手の完走を阻む第一関門になります。また、新得町最後の直線道路でのゴールスプリント争いも見ものとなります。

Stage 1 of Tour de Hokkaido will start after 3km-neutral parade from the Disaster Prevention Center in Asahikawa City. This stage features three KOM (King of Mountain). At the entrance of Biei Nature Village Campsite in Biei Town, the peloton faces the first KOM (H=766m) after passing through Higashikagura Town and Higashikawa Town. Following the second KOM at Mt. Tokachidake (H=1,050m), the descent leads to downtown Kamifurano. The third KOM at Karikachi Pass (H=642m) will come after passing through beautiful hilly area of Nakafurano Town, Furano City and Minamifurano Town. Both the longest stage distance in this year (185 km), and the tough KOM over 1,000m set at the beginning, are the hurdles to get over to complete the race. Finish sprint at the Health and Welfare Center in Shintoku Town is also must-see highlight of this stage.





ポイント名称		
S	旭川市総合防災センター前(バレード)	9:30
①	0.0 東神楽町ひしり野南(バレード終了3.0km)	9:37
②	18.2 道道213号 東神楽町・美瑛町境界	10:03
③	43.7 美瑛町置杆牛広域震道 簡易郵便局手前	10:40
④	57.1 美瑛自然の村キャンプ場入口(KOM1)	10:59
⑤	70.0 道道966号 十勝岳 (KOM2)	11:19
⑥	94.5 道道298号 中富良野町旭中公民館前(FZ)	11:53
⑦	111.0 道道253号・道道544号交点 富良野市麓郷	12:17
⑧	137.0 国道38号 道の駅南ふらの前	12:54
⑨	154.8 国道38号 南富良野町落合交点	13:19
⑩	163.9 国道38号 狩勝峠 (KOM3)	13:32
F	181.6 新得町保健福祉センター前(フィニッシュ)	13:58



- 凡例 Legend
- スタート Start
 - 山岳ポイント King of Mountain
 - 補給所 Feed zone
 - グリーンゾーン Green zone
 - フィニッシュ Finish



■旭川市 (Asahikawa City)

北海道のほぼ中央、雄大な大雪山連峰や十勝岳連峰の麓に位置する旭川市は、秋にはサケが遡上する忠別川をはじめ多くの川が流れ、明瞭な四季が織りなす豊かな自然に恵まれています。また、北海道第2の都市として、商工業のほか、医療、教育などの都市機能が充実しています。近年は、航空路線の充実により外国人観光客が増加しており、全国的に知られる動物園や雪質の良いスキー場などに国内外から年間520万人を超える観光客が訪れています。

Asahikawa City is located in the bottom area of the Daisetsuzan Mountains and Tokachidake Mountains, near the center of Hokkaido. The abundant nature, such as numerous rivers, provides difference in the four seasons. As the 2nd largest city in Hokkaido, Asahikawa is fulfilled with the city function. Growing flight network in recent years increased the number of tourists from abroad, many of them visiting Asahiyama Zoo and ski areas with good snow. Now, over 5.2 million tourists a year are visiting Asahikawa, including domestic tourists.



■東神楽町 (Higashikagura Town)

東神楽町は、北海道の真ん中にある大雪山のふもとに位置し、北海道第二の都市・旭川や観光地で有名な富良野・美瑛にも近く、「自然と都市が調和したまち」です。忠別川がもたらした肥沃な農地を生かし、農業のまちとして発展してきました。美しくのどかな田園空間が一面に広がり、緑と澄んだ空気に包まれた豊かな自然が息づくとともに、「花のまち」としても知られています。道北の空の玄関である旭川空港があるアクセスのいい東神楽町にぜひお越しください。

Located in the bottom of Mt. Daisetsuzan, the center of Hokkaido, Higashikagura has been developed as the agricultural town thanks to the fertile farmland while been close to the second largest city of Hokkaido, Asahikawa City and the tourist's spots, Furano Town and Biei Town. Higashikagura Town is also known for its flower with beautiful pastoral atmosphere provided by abundant nature spreading over. Please come and visit easily accessible Higashikagura Town where the entrance of northern Hokkaido, Asahikawa Airport is located.



■東川町 (Higashikawa Town)

東川町は、北海道最高峰旭岳(2291m)の麓にある全国でも数少ない上水道のない町です。良質な水により「ゆめびりか」や「ななつぼし」などの良質の米や野菜の産地になっているほか、最近ではカフェやパン、アウトドアショップなどおしゃれな店が多数出店し多くの人が訪れています。また、全国で初の町立の日本語学校が開校し、東アジアを中心に多くの国々から日本語研修生を受け入れています。

Located in the bottom of Mt. Asahidake (2291m), Higashikawa is the rare town in Japan that doesn't use tap water. Natural blessing of high quality natural water helps to grow high quality rice and vegetables. There are variety of cafes, bakeries and outdoor shops you can enjoy in recent years. Also, the town opened Japan's first municipal Japanese School accepting international students from many countries, especially East Asia.



■美瑛町 (Biei Town)

美瑛町は北海道のほぼ中央に位置し、なだらかな波状丘陵と雄大で緑豊かな自然環境が魅力のまちです。小麦、甜菜、豆類、馬鈴薯などの畑作農業を基幹産業としながらも、近年は「日本で最も美しい村」連合の取組みをはじめとした、美しい景観を次の世代に伝える取り組みも行ってきます。最近では、道の駅びえい「丘のくら」に次いで町内で2か所目となる道の駅びえい「白金ビルケ」が平成30年5月にオープンしました。道の駅のほか、「青い池」や「パッチワークの丘」など美瑛町の魅力を肌で感じることができる名所として観光客からの人気を集めています。

Known as one of the Most Beautiful Villages in Japan, Biei Town attracts visitors with its gently rolling hills and magnificent nature. While promoting the main industry of the town, crop-field farming (wheat, sugar beet, beans, potatoes etc.), the town also has been working on the project of "The Association of the Most Beautiful Villages in Japan" to save the beautiful landscape for next generation. This year, the second Michi-no-eki of the town, "Shirogane Biruke" has been opened following "Oka-no-kura". To enjoy the charm of Biei, "Blue Pond" and "Patchwork Road" are the popular tourist's spots as well.



■上富良野町 (Kamifurano Town)

上富良野町は北海道のほぼ中央部に位置し、養豚やホップ等の農畜産物、町花であるラベンダーを中心とした花畑、雄大な十勝岳連峰を有するなど自然景観溢れる町です。町の観光協会では、町内に6つのサイクリングコースを選定しており、中でも標高1200mまで登る「十勝岳ヒルクライムコース」は、サイクリストの脚力を試す絶好のコースとなっています。

Located in almost center of Hokkaido, Kamifurano Town is blessed with the natural landscape created by the agricultural product, lavender field and magnificent Mt. Tokachidake range. Kamifurano Tourist Association selected 6 cycling courses in town. In particular, Mt. Tokachidake Hill Climb course including the ascent up to 1200m above sea level, is the challenging one for the strength of cyclist's legs.



■中富良野町 (Nakafurano Town)

中富良野町は北海道のほぼ中心にあり、自然が豊かで景色がとてきれいなまちです。町のシンボル「北星山」の頂上からは、紫が一面に広がるラベンダー畑と緑あふれる田園風景、青々と雄大な十勝岳の山並み、その全てが織りなす美しいコントラストが一望できます。7月中旬に開催の「ラベンダーまつり」では、頭上にかかる花火と満開の花畑をご覧いただけます。

Lying at the center of Hokkaido, abundant nature of Nakafurano Town presents the beautiful scenery to us. From the top of Mt. Hokusei, you can command the view with beautiful contrast created by lavender field and Mt. Tokachidake. At annual "Lavender Festival" held in the middle of July, fireworks sparkles over the lavender fields in full bloom.



■富良野市 (Furano City)

「へそとスキーとワインのまち」富良野市は、農業と観光が基幹産業の田園都市。良質な雪質と大雪山連峰の雄大なロケーションを望む富良野スキー場、ワイン・チーズなどの特産品、ごみのリサイクル、へそ祭り、演劇など、地域資源を生かしたまちづくりに取り組んでいます。中心部の観光スポット「フラノマルシェ」「マルシェ2」をはじめ、昨年6月にオープンした「コンシェルジュフラノ」は、多くの人でにぎわいます。

Furano City is known as the "heso or navel of Hokkaido as well as the flower and wine town. With agriculture and tourism as the main industries, Furano City has been promoting town development with community resources including ski grounds with good snow and location, local specialties (wine, cheese etc.), garbage-recycling and cultural activities. "Concierge Furano" opened last June, and is one the famous tourist spots in the downtown, as well as "Furano Marche" and "Marche 2".



■南富良野町 (Minamifurano Town)

「太陽と森と湖のまち」をキャッチフレーズに、かなやま湖と空知川の周辺でカヌーやラフティング、キャンプ、氷上ワカサギ釣りなど、オールシーズンでアウトドアが満喫できる町です。映画「鉄道員(ぽっぽや)」のロケ地でもあり、JR幾寅駅周辺にはロケセットが今もそのままの姿で残されています。

"The town of Sun, Forest and Lake", Minamifurano Town has so many outdoor activities to offer throughout the year: canoeing, rafting, camping, ice fishing. The town is also famous as the location for the movie "Popooya". You can see the filming set kept as it was around JR Ikutara station.

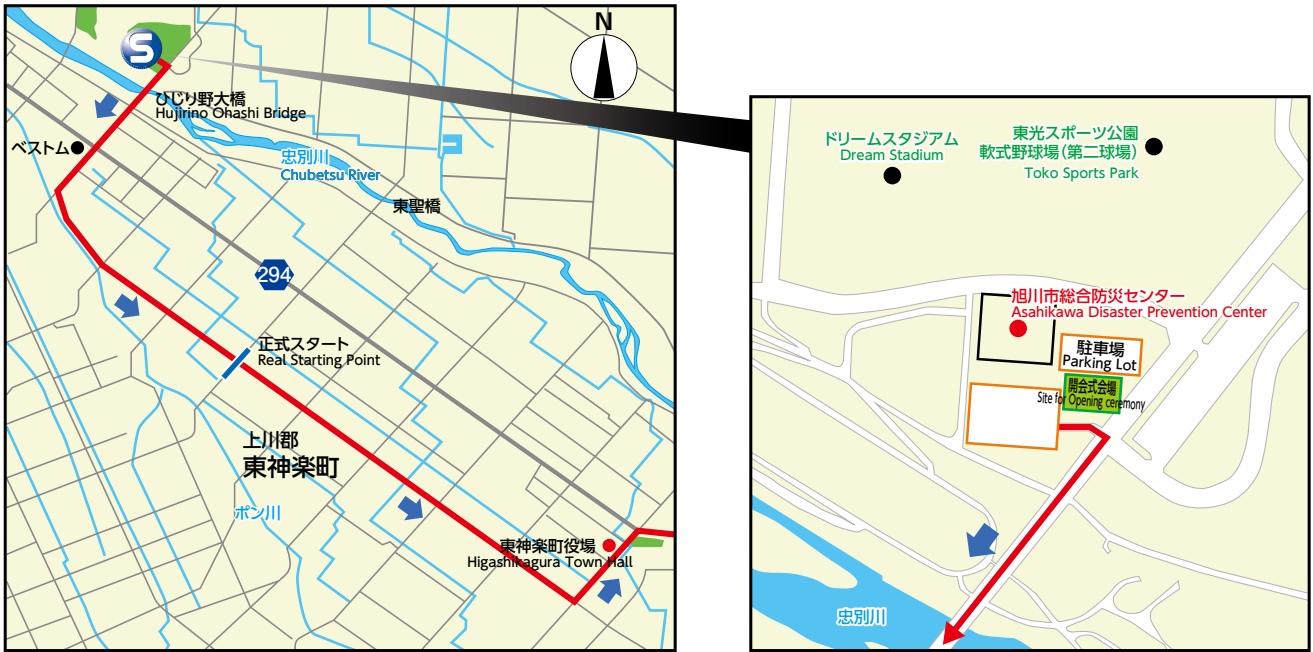


■新得町 (Shintoku Town)

北海道のど真ん中。美しく雄々しい東大雪の山々と日高山脈に抱かれた新得町は素晴らしい四季の風景、旬の食材、温泉、乗馬にラフティングなど、自然と時間を贅沢に使った楽しい遊びでいっぱいです。また、全国でも有数のそば処であり、山麓特有の昼夜間の寒暖差が激しい気候は、そばの「風味」を生み出します。さらに、毎年9月末には「新そば祭り」が開催され、全国各地から2万人が打ちたての新そばに舌鼓を打ちます。

Shintoku Town lies right in the center of Hokkaido surrounded by beautiful Higashi Daisetsu and Hidaka mountains. Known for its soba as specialty, annual Shinsoba Matsuri (festival) held the last Sunday of September attracts over 20000 visitors, where you can enjoy fresh handmade soba.

第1ステージ スタート会場マップ / Stage 1 Start venue Map



第1ステージ フィニッシュ会場マップ / Stage 1 Finish venue Map



ヒヤリハンター

重機と人の接近検知・接触事故防止対策

特許
登録済

導入台数
1,000台
突破!



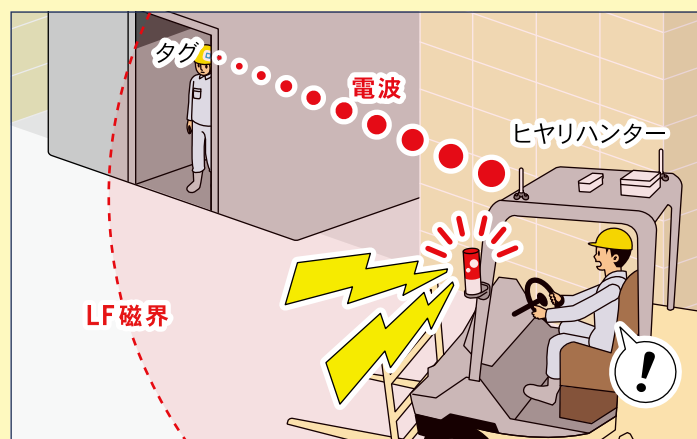
- 事故につながるヒヤリ・ハットをなくしたい
- 不必要な警報をなくしたい(オオカミ少年にならない)
- フォークリフト同士も検知したい

見えない危険を察知する磁界の力

重機・フォークリフトに設置した「ヒヤリハンター」で作業者が携帯している小型のICタグを瞬時に検知し、リフトマン(運転士)に警報でお知らせ!

磁界を使用した独自の"トリガーID方式"を採用し、誤検知による誤報のリスクを大幅に低減しています。

※検知距離は車両の種類や現場の環境によって変化します。



製品の詳細はHPにてご確認ください
(構成や動画、お客様の声、実績など)

ヒヤリハンター

ヒヤリハンター



RFIDの総合メーカー 株式会社マトリックス

MATRIX

<http://matrix-inc.co.jp/>

EASY. SAFE. FAST.

THE ONLY STANDARD IN ROAD TUBELESS

乗り心地滑らか、 パンクにも強い

- 走行中にかかる圧力を低くすることで
より高い快適性と
より低いパンクリスクを実現
- わずか 30g のシーラントで
パンクを防ぐ

直線での高速性と 素早いターン

- 全く新しいラバー
コンパウンドによって
最高のグリップバランスと
転がり抵抗の低減を実現
- チューブとタイヤの
摩擦がなくなり
転がりガスムーズに
- UST®システムが
(シーラント含む)
従来のタイヤ &
チューブシステムに
比べ 40g 軽量

安全かつ 使いやすい

- ケブラービードの
伸縮性によって
安全性を100%
保ちながら脱着が簡単



MAVIC

STAGE 2

9/7

第2ステージ 174km (ロードレース)

■第2ステージ日程表 / Schedule





スタート：帯広市 帯広競馬場前<9:30>
 フィニッシュ：北見市留辺薬町 旭運動公園前<13:42~14:03>
 表彰式：北見市留辺薬町 旭運動公園特設会場<14:30~15:00>

Start : Obihiro Racecourse, Obihiro City<9:30>
 Finish : Asahi Athletic Park, Kitami City<13:42 ~ 14:03>
 Awards Ceremony : Asahi Athletic Park, Kitami city <14:30~15:00>


September 7 (Sat.) Stage 2 : 174km (Road Race) Obihiro City ~ Kitami City

交通アクセス (Access)





スタート地点：帯広市 帯広競馬場

-  ... JR帯広駅から 2km 25分
-  ... 十勝バス (1・2・10・17・31番乗車) 「帯広駅バスターミナル」から「帯広競馬場前」下車すぐ
 リムジンバス「とかち帯広空港」から「帯広競馬場前」下車すぐ
 とかち帯広空港から 25km 30分
-  ... JR旭川駅周辺から 167km 3時間
 JR札幌駅周辺から道央・道東自動車道経由 199km 2時間45分
-  ... JR札幌駅からJR帯広駅 (最短) 2時間28分





フィニッシュ地点：北見市留辺薬町 旭運動公園

-  ... JR留辺薬駅から 2.2km 25分
-  ... 北見バス (留辺薬・温根湯行) 「北見ターミナル」から「留辺薬運動公園」下車すぐ
 JR北見駅周辺から 25km 40分
-  ... JR帯広駅周辺から 145km 2時間20分
 女満別空港から 60km 60分
-  ... JR北見駅からJR留辺薬駅 (最短) 18分

Start : Obihiro Racecourse, Obihiro City

-  ... JR Obihiro sta. ... 25 min. (2 km)
-  ... From Obihiro Eki Bus Terminal
 (Tokachi Bus no.1,2,10,17 and 31) ... Get off at "Obihiro Keibajo-mae"
 From Tokachi Obihiro Airport(Limousine Bus) ... Get off at "Obihiro Keibajo-mae"
-  ... From Tokachi Obihiro Airport ... 30min. (25 km)
 From JR Asahikawa sta. ... 3h (167 km)
 From JR Sapporo sta. (thru Doo Doto Expressway) ... 2h45min. (199 km)
-  ... From JR Sapporo sta. to JR Obihiro sta. ... 2h 28 min.

Finish: Asahi Athletic Park, Rubeshibe-cho, Kitami City

-  ... From JR Rubeshibe sta. ... 25 min. (2.2 km)
-  ... From Kitami Terminal
 (Kitami Bus for Rubeshibe and Onneyu) ... Get off at "Rubeshibe Undo Koen".
-  ... From JR Kitami sta. ... 40 min. (25 km)
 From JR Obihiro sta. ... 2h 20 min. (145 km)
 From Memambetsu Airport ... 1h(60 km)
-  ... From JR Kitami sta. to JR Rubeshibe sta. ... 18 min.

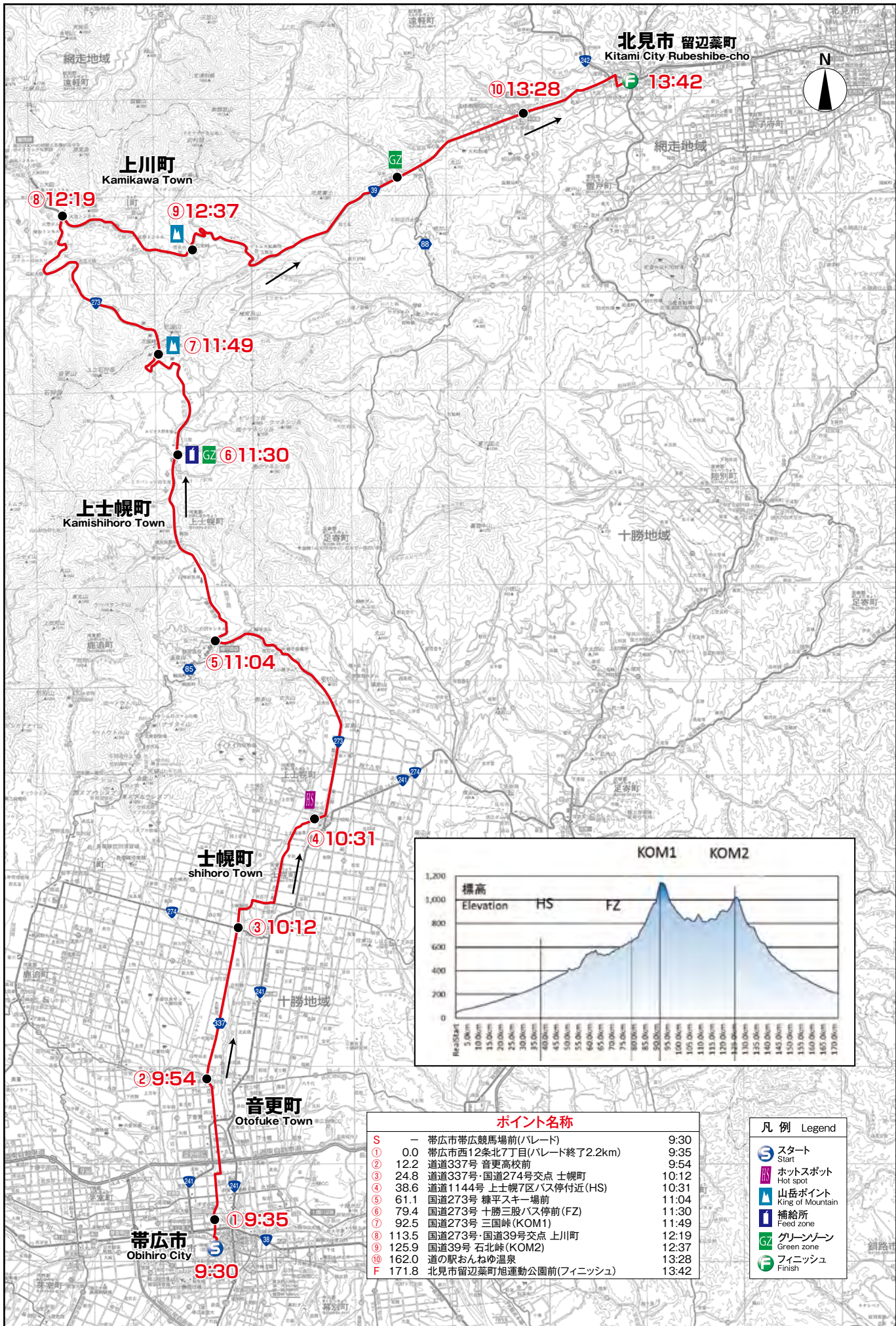


帯広市帯広競馬場からスタートする第2ステージの序盤は、広大な十勝平野が舞台となるため音更町、士幌町、上士幌町と長い直線道路での高速レースが予想されます。上士幌町7区に設けられたホットスポットで中間スプリントを競った後、レースは北上し、東大雪の大自然に抱かれたぬかびら源泉郷を通過すると、今大会最高標高となる三国峠KOM (KOM1: 1,137m) で最初の山岳ポイントを迎えます。上川町に入り、石狩川最上流部に位置する大雪ダムの周囲を走り、続く石北峠KOM (KOM2: 1,040m) で、2回目の山岳ポイントを競った後、一気に下り国道39号の直線道路を疾走して北見市留辺薬町の旭運動公園でフィニッシュする174kmのコースです。第2ステージは、大雪山系の標高1,000m超の二つのKOMが最大の難所であり、選手に過酷なレースを強いることとなります。

Starting in front of Obihiro Racecourse, the peloton is expected to face the high-speed race on relatively flat and straight route continuing towards Hot spot set at 7-ku in Kamishihoro Town. After keeping north and following "Nukabira Gensenkyo" (hot springs), the peloton gets to the first KOM, Mikuni Pass Observatory (H=1,137m), the highest KOM of this year. The second KOM, Sekihoku Pass (H=1,040m) comes after going around Taisetsu Dam. Finish line is set at Asahi Athletic Park in Rubeshibe-cho, Kitami City. This 174km-stage includes the toughest KOM of Mt. Daisetsuzan range over 1,000m in this year's course.

第2ステージ スタート会場マップ / Stage 2 Start venue Map





ポイント名称		
S	- 帯広市帯広競馬場前(ハレード)	9:30
①	0.0 帯広市西12条北7丁目(ハレード終了2.2km)	9:35
②	12.2 道道337号 音更高校前	9:54
③	24.8 道道337号-国道274号交点 士幌町	10:12
④	38.6 道道1144号 上士幌7区バス停付近(HS)	10:31
⑤	61.1 国道273号 糠平スキー場前	11:04
⑥	79.4 国道273号 十勝三股バス停前(FZ)	11:30
⑦	92.5 国道273号 三国峠(KOM1)	11:49
⑧	113.5 国道273号-国道39号交点 上川町	12:19
⑨	125.9 国道39号 石北峠(KOM2)	12:37
⑩	162.0 道の駅おんねゆ温泉	13:28
F	171.8 北見市留辺塚町旭運動公園前(フィニッシュ)	13:42

凡例 Legend	
	スタート Start
	ホットスポット Hot spot
	山岳ポイント King of Mountain
	補給所 Feed zone
	グリーンゾーン Green zone
	フィニッシュ Finish



■帯広市 (Obihiro City)

帯広市は、日本を代表する食材基地・十勝の中央に位置する人口約17万人の都市です。市街地は、オーストリア・ウィーンをモデルにした広大な森「帯広の森」に囲まれ、多くの緑やきれいな空気、美味しい水など、豊かな自然環境があります。また、世界で唯一、帯広市が開催している「ばんえい競馬」では、サラブレッドより体重が約2倍ある馬たちが、最大トンの鉄ソリを引き、カトスピードを競う迫力あるレースを展開しています。競馬場の敷地内には、十勝の食などの魅力を楽しむことのできる観光スポット「とかちむら」があります。

Located in the center of Tokachi region, Obihiro City, with population of 170,000, is the representative base of ingredients of Japan. Surrounded by the vast forest "Obihiro no Mori", modeled after Vienna, Austria, its downtown has beautiful natural environment including rich green, clear air, tasty water and so on. The city is also the world's only city that holds "Banei Keiba". The heavy-built horses competes for power and speed, with pulling heavy iron sleighs with jockeys. At the tourist's spot, "Tokachimura" at Obihiro racecourse, you can enjoy local gourmet food.



■音更町 (Otofuke Town)

十勝川のほとりにある十勝川温泉は、北海道遺産にも選定された植物性「モール温泉」を有し、別名「美人の湯」として親しまれています。早朝熱気球体験や川下りなど、四季折々のアウトドア体験も豊富です。十勝川温泉の中心地にある「ガーデンスパ十勝川温泉」は、家族やカップルで入れるモール温泉スバをはじめ、マルシェや飲食店、体験工房が並び観光の拠点施設です。家族みんなで音更町十勝川温泉にお越しください。

Tokachigawa Onsen (hot springs) contains the plant-derived moor hot spring, so called "Bijin no Yu" (hot spring for beauty), which has been designated as Hokkaido Heritage. The visitors can enjoy and appreciate the town's peaceful atmosphere and outdoor activities all the year around. "Garden Spa Tokachigawa Onsen", located at the center area, is the tourist's base facility which provides marche, restaurants and experience workshops as well as moor onsen spa. We warmly welcome family visitors!



■士幌町 (Shihoro Town)

士幌町は、十勝平野の中央に位置する基幹産業が農業のまちです。特産のじゃがいもで作るポテトチップをはじめ、おいしい「しほろ牛肉」のステーキやソフトクリームなどグルメが充実しています。十勝平野を一望できる標高600メートルの士幌高原に位置し、格安料金で利用できるコテージや、キャンプ場、バーベキューハウス、マウンテンバイクなど多彩な楽しみ方ができます。晴天の夜空の星は一見の価値あり!

Located in the center of Tokachi Plain, the main industry of Shihoro Town is agriculture. There are variety of local gourmet specialty such as Potato chips made with local potatoes, Shihoro beef and Soft serve ice cream. In addition, you can enjoy facilities and activities such as cottage, campsite, BBQ place and mountain biking. Stars in the clear night sky are must-see!



写真：北海道バルーンフェスティバル

■上士幌町 (Kamishihoro Town)

毎年8月、上士幌町で開催している北海道バルーンフェスティバルには、全国各地からバルーンリストが参加し、多くの熱気球が上空高く舞い上がる様子を間近で見ることが出来ます。また、町内にある日本一広い公共牧場「ナイタイ高原牧場」では、地元産の食材を使ったメニューや特産品を味わうことができ、温泉地「ぬかびら源泉郷」では、全てのお宿で源泉かけ流しのお湯をたっぷり堪能することができます。どうぞ、上士幌町にお越しください。

Hot air balloon enthusiasts from all over Japan, come to annual Hokkaido Balloon Festival held in August, where you can enjoy beautiful balloon flying in blue sky. Naitai Kogen Farm offers food with fresh local ingredients and you can enjoy Gensen Kakenagashi-style (water comes directly from the hot spring source, not-recycle) hot springs at all accommodations at "Nukabira Onsenkyo".



■上川町 (Kamikawa Town)

スキージャンプ女子の高梨沙羅選手や勢藤優花選手の出身地でもある上川町は、北海道のほぼ中央部、大雪山国立公園の玄関口にあるまちです。特に、年間2百万人が訪れる層雲峡温泉のほか、平成26年にグランドオープンした大雪高原旭ヶ丘には約700種の草花が植栽されたガーデンや世界の三國清三シェフがオーナーを務めるレストラン、ヴィラなどがあり人気を集めている。また、ラーメンや大雪高原牛、よもぎもちなどが有名。

The Town of Kamikawa, which is the hometown of ski jumpers Sara Takanashi and Yuka Seto, is located roughly in the center of Hokkaido and serves as the gateway to Daisetsuzan National Park. In addition to Sounkyo Onsen (hot springs), which attracts over two million visitors a year, Kamikawa has many tourist spots such as the garden at Daisetsu Kogen Asahigaoka, which opened in 2014 and has over 700 species of flowers, as well as a restaurant and villa owned and operated by world-famous chef Kiyomi Mikuni. Ramen, Daisetsu Kogen Beef and yomogi mochi (mugwort rice cakes) are also well known.



TOUR DE HOKKAIDO

第2ステージ フィニッシュ会場マップ / Stage 2 Finish venue Map



SHIMANO BICYCLE COMPONENTS

すべてのサイクリングファンの笑顔を支える — シマノ バイシクルコンポーネンツ

レースに勝つために走る。初めてのサイクリングイベントに挑戦する。仲間たちとロングライドに出かける。

様々なライディングシーンに圧倒的な高性能で応え、すべてのライダーに笑顔をお届けしたい。



- DURA-ACE
- SHIMANO ULTEGRA
- SHIMANO 105
- SHIMANO Tiagra
- SHIMANO SORA
- SHIMANO Claris

レース
スポーツ
ツーリング

妥協なき高性能。揺るぎのないシマノの製品づくりは
すべてのコンポーネンツに息づいています。

STAGE 3

9/8

第3ステージ 182km (ロードレース)

■第3ステージ日程表 / Schedule

スタート：北見市 市民温水プール前<9:30>
 フィニッシュ：当麻町 とうまスポーツランド<13:52~14:13>
 ステージ表彰及び最終表彰式：
 当麻町 公民館「まとまる」特設会場<15:00~16:00>

Start : Public Swimming Pool, Kitami City <9:30>
 Finish : Tohma Sportsland, Tohma Town <13:52 ~ 14:13>
 Awards ceremony and Overall Awards Ceremony : Tohma Community Center "Matomaaru", Tohma Town <15:00 ~ 16:00>

September 8 (Sun.) Stage 3 : 182km (Road Race) Kitami City ~ Tohma Town

交通アクセス (Access)

スタート地点：北見市 市民温水プール



… JR北見駅から850m 10分



… 北見バス (1番乗車)「北見駅」から「東9丁目」下車すぐ



… JR帯広駅周辺から道東自動車道経由 152km 2時間20分



… JR旭川駅からJR北見駅 (最短) 2時間52分
 … JR札幌駅からJR北見駅 (最短) 4時間27分

フィニッシュ地点：当麻町 とうまスポーツランド



… JR当麻駅から2km 25分



道北バス (70番乗車)
 … 「旭川駅」または「当麻駅」から
 「当麻町ヘルシーシャトー」下車 500m 徒歩7分



JR旭川駅周辺から20km 35分



… 旭川空港から23km 35分
 … JR札幌駅周辺から道央自動車道経由159km 2時間5分



… JR旭川駅からJR当麻駅 (最短) 25分
 … JR札幌駅からJR当麻駅 (最短) 1時間58分

Start : Public Swimming Pool, Kitami City



… From JR Kitami sta. … 10 min. (850 m)



… From JR Kitami sta.
 (Kitami Bus no. 1) … Get off at "Higashi 9-chome"



… From JR Obihiro sta. (thru Doto Expressway) … 2 h 20 min. (152 km)



… From JR Asahikawa sta. to JR Kitami sta. … 2 h 52 min.
 … From JR Sapporo sta. to JR Kitami sta. … 4 h 27 min.

Finish : Tohma Sportsland … Tohma Town



… From JR Tohma sta. … 25 min. (2 km)



… From JR Asahikawa sta. or JR Tohma sta.
 (Dohoku Bus no. 70) … Get off at "Tohma Town Healthy Chateau" and
 7-min. walk (500 m)



… From JR Asahikawa sta. … 35 min. (20 km)



… From Asahikawa Airport … 35 min. (23 km)



… From JR Sapporo sta. (thru Doo Expressway) … 2h5min. (159 km)



… From JR Asahikawa sta. to JR Tohma sta. … 25 min



… From JR Sapporo sta. to JR Tohma sta. … 1h 58 min

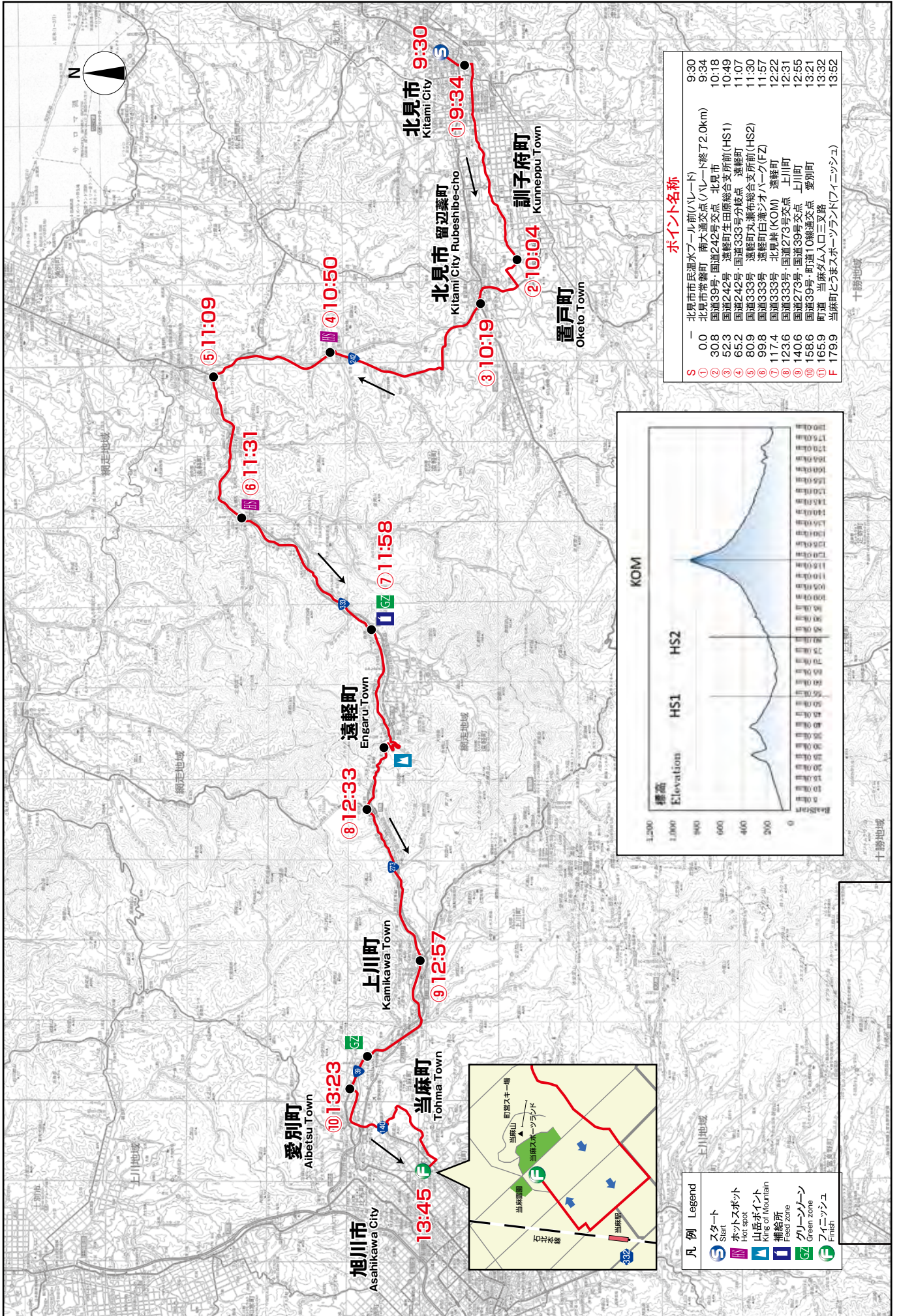


第3ステージは北見市の市民温水プールをスタートし、訓子府町、置戸町を經由し、金華峠を越えて遠軽町へ入り、生田原と丸瀬布の総合支所前の2箇所のホットスポットで中間スプリントを競います。続く白滝ジオパーク前で補給した後すぐに、北見峠KOM (KOM:857m) が待ち構えます。今大会最後の山岳ポイントとなる北見峠を越え上川町、愛別町を進み、当麻ダムの沿線を走り抜け当麻町とうまスポーツランドでフィニッシュする182kmのコースです。

The last stage of this year, Stage 3 starts in front of Public Swimming Pool in Kitami City, passes by suburban area of Kunneppu Town and Oketo Town towards two Hot spots (Ikutahara general branch office and Maruseppu general branch office) set in Engaru Town. After Feed Zone at Shirataki Geopark, the peloton climbs up to the only KOM of this stage, Kitami Pass (H=857m). At the end of the stage of 182 km, the peloton rides through Kamikawa Town and Aibetsu Town riding along Tohma Dam towards the finish line at Tohma Sportsland in Tohma Town.

第3ステージ スタート会場マップ / Stage 3 Start venue Map





+40% Side cut resistance

-4% Drag [40km/h]

-4% Rolling resistance

+7% Grip

205g Weight

Flagship of Clincher Tire

**ASPITE
PRO**

19001H / W0700×24C / 205g
190122 / W0700×26C / 245g

**ASPITE
PRO RBCC (IBWET)**

19001J / W0700×24C / 205g
190125 / W0700×26C / 245g

極微細なカット傷までも考慮して開発されたトレッドゴム。タイヤ構造全体をカバーするクロス織りメッシュ。革新的な技術、新素材の投入、飽くなきトライ&エラーを繰り返すことで実現したIRCのレーシングタイヤは、これらの組み合わせによってパンクトラブルのリスクを可能な限り低減した。タフネスとスムーズな走りを両立した[ASPITE PRO / アスピーテ プロ]は、ライダーたちの「軽量タイヤはパンクしやすい」という常識を覆す。

RIDE × COMFORT

www.irc-tire.com

本社 / 愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目13番4号 TEL:0120-041718
若柳事業所 / 宮城県栗原市若柳字川北東若柳123番地 TEL:0228-32-2201



■北見市 (Kitami City)

面積が道内一の北見市は、生産量日本一の「玉ねぎ」や日本有数の水揚げを誇る「ホタテ」をはじめとする多彩な地域資源や豊かな自然環境に恵まれています。また、カーリングのまちとして知られ、多数のオリンピック選手を輩出しているほか、冷涼な気候や日照率の高さから、昭和60年からスポーツ合宿の誘致活動を積極的に行っており、ラグビー・陸上・スキーなど毎年多くのアスリートが訪れています。

Kitami city has the largest area in Hokkaido, which is surrounded by variety of resources such as onions and scallops. It is also known as the city of curling and has produced many Olympians. Because of its advantage of cool weather and long sunshine duration, Kitami city has worked hard to attract a training camp since 1985, and many athletes including rugby, track and field, and skiing have visited here.



■訓子府町 (Kunneppu Town)

訓子府町は北海道東北部のオホーツク斜面の内陸寄り、周りを山に囲われた北見盆地に位置しています。盆地特有の内陸性気候で日照率が高く、寒暖の差が大きいのが特徴です。町の基幹産業は農業であり、玉ねぎや馬鈴薯、メロンなど多岐にわたります。多くの生産者が減農薬・有機栽培などに取り組み、環境にも配慮した安心安全な農産物の生産に取り組むなど「訓子府農業」を発展させています。

Kunneppu Town is located in Kitami Basin, surrounded by mountains and lying inland of northeastern Hokkaido, Okhotsk area. The town has inland climate with long sunshine duration and significant difference in temperature between day and night. The main industry of the town is agriculture: onions, potatoes, melons and so on. Many farmers are working on environmentally friendly organic cultivation with less fertilizer to promote "Kunneppu agriculture".



■置戸町 (Oketo Town)

置戸町(おけとちょう)は、オホーツクの南西部に位置し、周囲を山に囲まれた自然豊かな町です。町全体の8割以上の面積を森林が占めており、木を用いて製作する特産品のオケクラフトや夏の名物イベント「人間ばん馬大会」では、大きな丸太を馬さながらに人間が曳いて競い合うなど、町は木に深いつながりを持っています。こだわりの食材を使って調理し、オケクラフトの食器で食べる町の学校給食は、全国的にも有名です。

Located in southwestern Okhotsk and surrounded by mountains, Oketo Town is blessed with abundant nature. As over 80% of the town consists of the forest, we can see that wood is strongly connected with the life of the town. Oke Craft is local specialty made with wood and at summer famous event, Ningen Bamba Race, people compete with each other with logs being pulled. School lunch with finely selected ingredient served in Oke Craft is nationwide famous.



■遠軽町 (Engaru Town)

遠軽町は、北海道の北東部、オホーツク地域のほぼ中央に位置する人口約2万人のまちです。町の面積は、全国の町村で2番目に広く、その9割近くを森林が占めています。北海道の屋根・大雪山系を源にオホーツク海に注ぐ湧別川が貫流し、森林と清流に恵まれた自然豊かな町です。町の名所として北海道自然100選に選ばれた高さ78メートルの瞰望(かんぼう)岩は、アイヌ語で「インカルシ(見晴らしのよい所)」と呼ばれたことから、町名の由来となりました。また、この瞰望岩を含む「太陽の丘えんがる公園」には、日本最大級のコスモス園があり、秋には1千万本のコスモスが咲き誇ります。レース最終日の9月8日(日)にはコスモスフェスタが開催されます。

Lying nearly in the center of Okhotsk region, Engaru Town has population of 20,000. The town is blessed with rich forest covering approximately 90% of the town and freshwater of Yubetsu River flows through the town. Ganbo Iwa is designated as Hokkaido 100 Best Natural Landscape, "Ganbo Iwa", called "Inkarushi (meaning: nice view spot)" originated in the name of the town. "Taiyo-no-Oka Engaru Park" is one of the largest cosmos gardens in Japan, having the entire hill filled with some 10 million cosmoses. Cosmos Festa will be held on Sunday, September 8, the last day of Tour de Hokkaido.



■愛別町 (Aibetsu Town)

愛別町は、北海道内有数のきのこの産地です。町内では、5種類のきのこを生産し、様々なきのこ料理が味わえます。また、新鮮なきのこは、香りや食感が格別ですので、ぜひ町内でお買い求めください。また、ツール・ド・北海道2019開催中の9月8日(日)には、愛別町最大のイベントである第33回あいべつ「きのこの里」フェスティバル、令和2年3月1日(日)には、冬のイベントである第36回愛別町雪中ソフトボール大会が開催されます。「きのこの里 愛別町」へ是非一度お越しください。

Aibetsu Town is recognized as the leading mushroom producer in Hokkaido. Five kinds of mushroom produced in Town can be varieties of dishes. You can see the difference when you eat fresh mushroom. In autumn, the town holds annual Kinoko no Sato (Mushroom Town) festival on the second Sunday in September (September 8 this year during Tour de Hokkaido). As winter event, there is softball tournament in snow in March. Please come to visit "Kinoko no Sato Aibetsu Town".



■当麻町 (Tohma Town)

全道トップクラスの良質米が栽培される米どころ当麻町には、夏バラ日本一の評価を受ける「大雪の薔薇」、高級ブランドスイカ「でんすけすいか」など、全道、全国クラスの特産品がそろいぶみ。1億5000万年の悠久の時間が造りだした自然の神秘、北海道指定天然記念物「当麻鐘乳洞」は観光客でにぎわいます。温度9℃前後に保たれる洞窟内の特徴をいかし、冬期閉鎖期間に熟成させる純米大吟醸酒「龍乃泉」は芳醇でまろやかな味わい。大地の力が宿る特別な日本酒です。

As fertile rice-growing area, Tohma Town also has lineup of famous local products with nationwide quality such as Rice, Rose "Taisetsu no Bara" and Watermelon "Densuke Suika". A designated natural treasure of Hokkaido, formed 150 million years ago, Toma Limestone Cave has been busy with the tourists. Local sake "Ryu no Izumi" is aged in this cave during winter.

第3ステージフィニッシュ会場マップ / Stage 3 Finish venue Map





TOUR DE HOKKAIDO 歴代チャンピオン



1987 第1回
高橋 松吉
TAKAHASHI, Matsuyoshi
ナカガワ F E T オークレー



1988 第2回
橋 詰一也
HASHIZUME, Kazuya
ボスコ



1989 第3回
大石 一夫
OISHI, Kazuo
ボスコ



1990 第4回
今中 大介
IMANAKA, Daisuke
シマノ



1991 第5回
今中 大介
IMANAKA, Daisuke
シマノ



1992 第6回
スプラット スティーブン
SPRATT, Stephen
アイルランド



1993 第7回
今中 大介
IMANAKA, Daisuke
シマノ



1994 第8回
大野 直志
ONO, Naoshi
チーム F E T ラバネロ



1995 第9回
グイドッティ アンドレア
GUIDOTTI, Andrea
日本舗道



1996 第10回
ウォルバーグ エリック
WOHLBERG, Eric
カナダ



1997 第11回
コレオーニ ミケーレ
COLLEONI, Michele
アコムラバネロ



1998 第12回
行成 秀人
YUKINARI, Hideto
ミヤタスバル



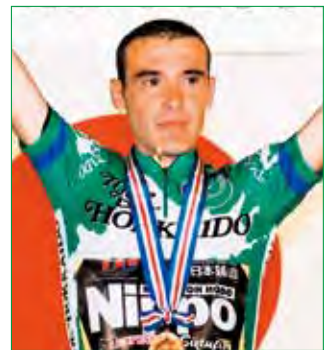
1999 第13回
橋川 健
HASHIKAWA, Ken
ブリヂストン・アンカー



2000 第14回
ウォルバーグ エリック
WOHLBERG, Eric
カナダ



2001 第15回
マッキャン デヴィッド
McCANN, David
アイルランド



2002 第16回
モーリ シモーネ
MORI, Simone
日本舗道



2003 第17回
広瀬 敏
 HIROSE, Satoshi
 日本舗道



2004 第18回
ワン カンポ
 WONG, Kam-po
 スミタラバネロ



2005 第19回
ラッティ エディー
 RATTI, Eddy
 チームNIPPO



2006 第20回
西谷 泰治
 NISHITANI, Taiji
 愛三工業



2007 第21回
ヴェルネル ヘンリ
 WERNER, Henri
 ドイツ



2008 第22回
宮澤 崇史
 MIYAZAWA, Takashi
 梅丹本舗-GDR



2009 第23回
宮澤 崇史
 MIYAZAWA, Takashi
 梅丹本舗-GDR



2010 第24回
清水 都貴
 SHIMIZU, Miyataka
 チームブリヂストンアンカー



2011 第25回
ルピアーノチャヴェスミゲールアンジェル
 RUBIANO CHAVEZ, Miguel Angel
 ダンジェロ&アンテヌッチーNIPPO



2012 第26回
リケーゼ マッシミリアーノ
 RICHEZE, Maximiliano
 チームNIPPO



2013 第27回
ルバトマ
 LEBAS, Thomas
 ブリヂストンアンカーサイクリングチーム



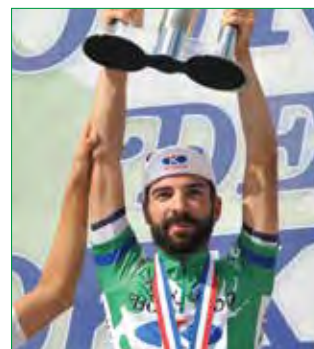
2014 第28回
プリート ジョシュア
 PRETE, Joshua
 チームバジェットフォークリフト



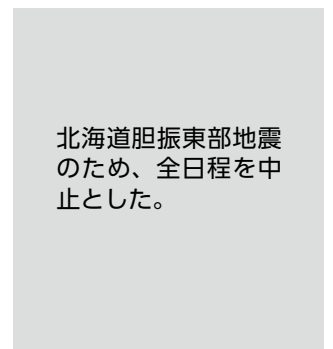
2015 第29回
スタキオティ リカルド
 STACCHIOTTI, Riccardo
 NIPPO- ヴィーニファンティーニ



2016 第30回
増田 成幸
 MASUDA, Nariyuki
 宇都宮ブリツェン



2017 第31回
ガルシア マルコス
 GARCIA, Marcos
 キナンサイクリングチーム



2018 第32回

ツール・ド・北海道2019 役員名簿 Officials of Tour de Hokkaido 2019

● 総裁

綿貫 民輔 公益財団法人
ツール・ド・北海道協会会長

● President

WATANUKI Tamisuke
President of Tour de Hokkaido
Association

● 大会長

山本 隆幸 公益財団法人
ツール・ド・北海道協会理事長

● Chairman of Tour de Hokkaido

YAMAMOTO Takayuki
Head Director of Tour de Hokkaido
Association

● 副総裁

鈴木 直道 北海道知事[協会顧問]

● Vice Presidents

SUZUKI Naomichi
Governor of Hokkaido
(Advisor to the Association)

● 副大会長

橋本 聖子 公益財団法人
日本自転車競技連盟会長

● Vice Chairmen of Tour de Hokkaido

HASHIMOTO Seiko
President of Japan Cycling Federation

秋元 克広 札幌市長[協会顧問]

AKIMOTO Katsuhiko
Mayor of Sapporo
(Advisor to the Association)

笹部 俊雄 公益財団法人JKA会長

SASABE Toshio
President of JKA

西原 巧 公益財団法人
ツール・ド・北海道協会顧問

NISHIHARA Takumi
Advisor to Tour de Hokkaido Association

● 大会顧問

後藤 貞二 国土交通省北海道開発局長

● Counselors for Tour de Hokkaido

GOTO Teiji
Director General, Hokkaido Regional
Development Bureau

眞田 眞 公益財団法人
ツール・ド・北海道協会顧問

SANADA Makoto
Advisor to Tour de Hokkaido Association

安藤 保彦 経済産業省
北海道経済産業局長

ANDO Yasuhiko
Director General, Hokkaido Bureau of
Economy,
Trade and Industry

大会参与(五十音順)

生島 典明 IKUSHIMA Noriaki	公益財団法人北海道スポーツ協会副会長	高井 修 TAKAI Osamu	北海道経済連合会副会長
池田 明聡 IKEDA Akiyoshi	池田明聡公認会計士事務所公認会計士	高松 泰 TAKAMATSU Yasushi	公益財団法人ツール・ド・北海道協会常務理事
池部 彰 IKEBE Akira	南富良野町長	竹内 正信 TAKEUCHI Masanobu	国土交通省北海道開発局帯広開発建設部長
石川 栄男 ISHIKAWA Sakao	株式会社NIPPO北海道支店常務執行役員支店長	竹中 貢 TAKENAKA Mitsugi	上士幌町長
井上 久男 INOUE Hisao	置戸町長	田中 栄作 TANAKA Eisaku	一般財団法人日本自転車普及協会常務理事
小川 魁 OGAWA Isao	北海道サイクリング協会副会長	棚野 孝夫 TANANO Takao	北海道町村会会長(白糠町長)
小川 敏雄 OGAWA Toshio	社会福祉法人扶桑苑理事長	辻 信三 TSUJI Shinzo	医療法人社団 東桑会 札幌北クリニック情報管理顧問
小野 信次 ONO Shinji	音更町長	辻 直孝 TSUJI Naotaka	北見市長
角 和浩幸 KAKUWA Hiroyuki	美瑛町長	恒松 浩 TSUNEMATSU Hiroshi	公益財団法人ツール・ド・北海道協会理事
鹿嶋 弘律 KASHIMA Hironori	国土交通省北海道開発局旭川開発建設部長	西川 将人 NISHIKAWA Masahito	旭川市長
川島 聡 KAWASHIMA Satoshi	公益財団法人JKA執行理事	浜田 正利 HAMADA Masatoshi	新得町長
菊川 健一 KIKUKAWA Kenichi	当麻町長	林 辰夫 HAYASHI Tatsuo	公益財団法人日本自転車競技連盟副会長
菊池 一春 KIKUCHI Kazuharu	訓子府町長	日浅 尚子 HIASA Naoko	株式会社北海道新聞常勤監査役
木佐 剛三 KISA Takezo	中富良野町長	松岡 市郎 MATSUOKA Ichiro	東川町長
北 猛俊 KITA Taketoshi	富良野市長	向山 富夫 MUKAIYAMA Tomio	上富良野町長
小磯 修二 KOISO Shuji	前釧路公立大学学長	村上 昌仁 MURAKAMI Masahito	国土交通省北海道開発局網走開発建設部長
小林 康雄 KOBAYASHI Yasuo	士幌町長	安江 哲 YASUE Satoshi	株式会社北未来技研顧問
小樋山 規之 KOHIYAMA Noriyuki	サッポロビール株式会社北海道本社副代表	山口 幸太郎 YAMAGUCHI Kotaro	北海道市長会会長(千歳市長)
斉藤 智徳 SAITO Tomonori	北武コンサルタント株式会社相談役	山本 進 YAMAMOTO Susumu	東神楽町長
坂 敏弘 SAKA Toshihiro	一般社団法人北海道建設業協会副会長	米沢 則寿 YONEZAWA Norihisa	帯広市長
佐々木 修一 SASAKI Shuichi	遠軽町長	渡辺 一郎 WATANABE Ichiro	一般社団法人北海道舗装事業協会会長
佐藤 芳治 SATO Yoshiji	上川町長	渡邊 実 WATANABE Minoru	公益財団法人JKA専務理事
前佛 秀幸 ZENBUTSU Hideyuki	愛別町長		

ツール・ド・北海道2019 実行委員会名簿 Secretaries of the Exective Committee of Tour de Hokkaido 2019

委員 長 森野 和泰 MORINO Kazuyasu 公益財団法人北海道スポーツ協会副会長
 副委員 長 穴田 勝彦 ANADA Katsuhiko 公益財団法人日本自転車競技連盟参与
 副委員 長 小野 盛秀 ONO Morihide 北海道自転車競技連盟会長
 副委員 長 高松 泰 TAKAMATSU Yasushi 公益財団法人ツール・ド・北海道協会常務理事

所 属	委 員	幹 事
北海道自転車軽自動車商業協同組合	理事長 小野 盛秀 ONO Morihide	副理事長 高橋 嘉弘 TAKAHASHI Yoshihiro 副理事長 服部 好泰 HATTORI Yoshiyasu
北海道自転車協会 北海道サイクリング協会 特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会 一般財団法人北海道交通安全協会 公益財団法人北海道スポーツ協会 公益社団法人北海道観光振興機構	会長 村山 文彦 MURAYAMA Fumihiko 副会長 小川 魁 OGAWA Isao 代表理事 丸山 光徳 MARUYAMA Mitsunori 専務理事 堀内 巖 HORIUCHI Iwao 副会長 森野 和泰 MORINO Kazuyasu 専務理事 坂本 和彦 SAKAMOTO Kazuhiko 専務理事 黒田 秀徳 KURODA Hidenori	理事長 村上 昌美 MURAKAMI Masami 理事 池内 勝治 IKEUCHI Katsuharu 企画推進部長 大野 富穂 ONO Tomiho
国土交通省 北海道開発局	建設部長 平野 令緒 HIRANO Reo 開発監理部次長 石塚 宗司 ISHIZUKA Shuji	開発調整課長 小林 幹男 KOBAYASHI Mikio 開発調整課長補佐 新妻 憲嗣 NIIZUMA Toshitsugu 建設行政課長 佐々木 斎 SASAKI Hitoshi 河川計画課長 柿崎 恒美 KAKIZAKI Tsunemi 道路計画課長 井上 勝伸 INOUE Katsunobu 道路建設課長 島多 昭典 SHIMATA Akinori 道路維持課長 遠藤 達哉 ENDO Tatsuya 港湾計画課長 箕作 幸治 MITSUKURI Koji
(旭川開発建設部)		次長(総務担当) 越智 俊光 OCHI Toshimitsu 次長(河川・道路担当) 山田 拓也 YAMADA Takuya
(帯広開発建設部)		次長(総務担当) 千田 澄夫 CHIDA Sumio 次長(河川・道路担当) 齋藤 大作 SAITO Daisaku
(網走開発建設部)		次長(総務担当) 村越 慶次 MURAKOSHI Keiji 次長(河川・道路担当) 高橋 一浩 TAKAHASHI Kazuhiro
北海道	スポーツ局長 若原 匡 WAKAHARA Tadashi	観光生活スポーツ振興課長 石丸 幸夫 ISHIMARU Yukio 建設部 建設政策局 京田 隆一 KYOTA Ryuichi 維持管理防災課維持担当課長 建設部 建設政策局 早川 友浩 HAYAKAWA Tomohiro 維持管理防災課管理担当課長 建設部 土木局 道路課長 佐藤 匡之 SATO Masayuki
(上川総合振興局)		副局長 今井 敏文 IMAI Toshifumi 旭川建設管理部 地域調整課長 吉田 安範 YOSHIDA Yasunori
(十勝総合振興局)		副局長 須藤 正之 SUDO Masayuki 帯広建設管理部 地域調整課長 橋本 雄太 HASHIMOTO Yuta
(オホーツク総合振興局)		副局長 大澤 英二 OSAWA Eiji 網走建設管理部 地域調整課長 北本 幸徳 KITAMOTO Yukinori
旭川市	観光スポーツ交流部長 三宅 智彦 MIYAKE Tomohiko	観光スポーツ交流課長 高橋 慶太 TAKAHASHI Keita
帯広市教育委員会	スポーツ振興室長 葛西 克也 KASAI Katsuya	スポーツ振興室主幹 河瀬 祐二 KAWASE Yuji
北見市教育委員会	社会教育部長 佐々木 賢一 SASAKI Kenichi	スポーツ課長 三上 剛 MIKAMI Tsuyoshi
富良野市	市民生活部長 山下 俊明 YAMASHITA Toshiaki	市民協働課長 安西 義弘 ANZAI Yoshihiro
東神楽町教育委員会	副町長 西山 満 NISHIYAMA Mitsuru	地域の元気づくり課長 神田 昌作 KANDA Shosaku
当麻町教育委員会	副町長 遠藤 憲彦 ENDO Norihiko	教育長 鍛治 隆 KAJI Takashi
愛別町教育委員会	副町長 石田 光幸 ISHIDA Mitsuyuki	教育次長 谷田 道明 TANIDA Michiaki
上川町教育委員会	副町長 谷 博文 TANI Hirofumi	教育長 中野 俊和 NAKANO Toshikazu
東川町教育委員会	教育長 林 万里 HAYASHI Kazusato	生活学習推進課長 佐々木 貴行 SASAKI Takayuki
美瑛町	副町長 塚田 聡仁 TSUKADA Toshihito	経済文化振興課長 今野 聖貴 KONNO Kiyotaka
上富良野町教育委員会	教育長 服部 久和 HATTORI Hisakazu	教育振興課長 及川 光一 OIKAWA Koichi
中富良野町教育委員会	教育長 中島 光明 NAKAJIMA Mitsuyuki	教育課長 牛嶋 雅文 USHIJIMA Masafumi
南富良野町	副町長 高橋 秀樹 TAKAHASHI Hideki	総務課長 定塚 正文 JOZUKA Masafumi
訓子府町教育委員会	教育長 林 秀貴 HAYASHI Hidetaka	社会教育課長 高橋 治 TAKAHASHI Osamu
置戸町教育委員会	教育長 平野 毅 HIRANO Takeshi	社会教育課長 五十嵐 勝昭 IGARASHI Masaaki
遠軽町教育委員会	教育長 河原 英男 KAWAHARA Hideo	社会教育課長 小野寺 正彦 ONODARA Masahiko
音更町教育委員会	副町長 高木 収 TAKAGI Osamu	スポーツ課長 八鍬 政幸 YAKUWA Masayuki
土幌町	副町長 柴田 敏之 SHIBATA Toshiyuki	総務企画課企画グループ主幹 増田 達也 MASUDA Tatsuya
上土幌町教育委員会	副町長 千葉 与四郎 CHIBA Yoshiro	生涯学習課長 須田 修 SUDA Osamu
新得町	副町長 金田 将 KANETA Susumu	産業課長 石塚 将照 ISHIZUKA Masaaki



RENTAL
OUTLET
REUSE
RECYCLE
OUTFITTER Five "exits".

Five "exits".

Each is connected with the others, to provide an exceptional "EX" product "IT".
Come and discover "IT". We provide an exit for its release.
After disposal it becomes free ... there are exits, and there are bypaths, but it won't go far.
Value is there and the Bluebird is right there, too.

retail store

niseko village niseko hirafu AYA niseko Skye niseko
sapporo asahikawa daisetsu ebetsu biwako

ikeuchi affiliated other store

i ZONE niseko village
IKEUCHI

Life style store



NISEKO NATURE CENTER

Hotel & Activity Bicycle & Camping Center

CYCLE NISEKO
CAMP NISEKO
STAY NISEKO

Check out our website!
www.igate-ikeuchi.com



IKEUCHI GROUP

★ 乾杯を
もっとおいしく。
SAPPORO

ONLY
北海道!

18年
連続売上
アップ!

※2001年から2018年までの18年連続売上前年比100%超えを達成(当社調べ)



ストップ! 20歳未満飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。
お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。♻️

サッポロビール株式会社
www.sapporobeer.jp

「株式会社JTBは、ツール・ド・北海道2019を応援しています。」

JTB

感動のそばに、いつも。

人をつなぐ、笑顔をつなぐ。
JTBは地球を舞台に、
あらゆる交流を創造し続けます。

<http://www.jtb.co.jp/>



THULE[®]
SWEDEN



〉ホイールでサイクルを固定するユニバーサルサイクルキャリア

Thule Upride 599

¥44,000 (消費税別・本体価格)

- フレームでなくフロントホイールでサイクルを固定
 - フレームを傷つけずに確実な積載が可能
 - カーボンフレーム自転車に対応
 - 外径20-29インチ、幅3インチまでのタイヤに適合
(別売りフラットバイクアダプターを装着すれば5インチのタイヤまで積載が可能)
 - アームを運転席側・助手席側に容易に入れ替え可能
 - 後部にワイヤーロックを内蔵
- ※スクエアバーへの装着には別途アダプター889-B ¥2,000 (消費税別・本体価格)が必要です。
※泥除けのついたサイクルは積載できません。

Bring your life

thule.com

<ご注意>

※本掲載の商品内容・仕様に関しましては2019年7月現在のものであり、予告なく変更する場合があります。
※意匠・仕様等は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※本体価格は、希望小売価格(税抜)で取付工賃等は含まれません。
※Upride599の装着にはTHULEベースキャリアが必要です。取扱店店頭の手帳別適応表をご確認の上併せてお求めください。

5 years warranty
Jahre Garantie
ans de garantie
años de garantía

スーリー製品は安心の5年保証

お求めは全国有名カー用品店・通信販売店等で

ABE SHOKAI

スーリー輸入代理店
株式会社 阿部商会
東京都千代田区神田美土代町3番地

0800-100-4182
www.abeshokai.co.jp

◆ブログ掲載中!◆ http://abeshokai.jp/blog/thule_new/

THULEルーフキャリアごだけの話

検索

おかげさまで50周年



ニッポンレンタカーは、おかげさまで創立50周年を迎えました。

これからも、先進的かつ魅力的なサービスの提供に努めて参ります。

変わらぬご愛顧、宜しくお願いいたします。



ニッポンレンタカー北海道株式会社 | 〒003-0001 札幌市白石区東札幌1条1丁目1番8号 じょうてつビル1階 | <https://www.nrgroup-global.com/hk/>
TEL 011-805-0919 FAX 011-805-0920

～ 私たちはツール・ド・北海道を応援しています ～

ツール・ド・北海道2019 賛助会員等名簿

●法人

一般社団法人網走建設業協会	株式会社北一組	鉄建建設株式会社 札幌支店	北海道ロードメンテナンス株式会社
小樽建設協会	北日本港湾コンサルタント株式会社	電通設備株式会社	株式会社堀口組
一般社団法人寒地港湾技術研究センター	協和八光建設株式会社	東亜道路工業株式会社 北海道支社	堀松建設工業株式会社
札幌自転車競技連盟	草野作工株式会社	東海建設株式会社	幌村建設株式会社
一般社団法人 函館建設業協会	栗林建設株式会社	道興建設株式会社	前田建設工業株式会社 北海道支店
一般社団法人 北海道開発技術センター	ケイセイマサキ建設株式会社	東光舗道株式会社	前田道路株式会社 北海道支店
一般社団法人 北海道開発協会	光栄建設工業株式会社	株式会社東洋実業	丸建道路株式会社 札幌支店
一般財団法人 北海道河川財団	株式会社構研エンジニアリング	道路建設株式会社	丸駒シビルサービス株式会社
北海道自転車軽自動車商業協同組合	株式会社小金澤組	道路工業株式会社	丸彦渡辺建設株式会社
一般社団法人 北海道商工会議所連合会	小針土建株式会社	株式会社ドーコン	三井住建道路株式会社 北海道支店
一般社団法人 北海道測量設計業協会	こぶし建設株式会社	徳井建設工業株式会社	宮坂建設工業株式会社
一般財団法人 北海道道路管理技術センター	有限会社サイクル小野サポロ	戸田建設株式会社 札幌支店	宮永建設株式会社
一般社団法人 北海道土地改良建設協会	斉藤井出建設株式会社	戸田道路株式会社 札幌営業所	株式会社宮原組
一般社団法人 北海道土地改良設計技術協会	坂野建設株式会社	飛鳥建設株式会社 札幌支店	宮脇土建株式会社
公益社団法人 北海道トラック協会	札幌工業株式会社	株式会社ドボク管理	村井建設株式会社
稚内建設協会	札幌建設運送株式会社	株式会社土木技術コンサルタント	株式会社盛永組
	沢田建設株式会社	中道リース株式会社	株式会社森本商会
	三協建設株式会社	株式会社中山組	株式会社山内組
赤川建設興業株式会社	三共電気工業株式会社	西江建設株式会社	株式会社山口工業所
阿寒共立土建株式会社	株式会社サン広告社	西松建設株式会社 札幌支店	山高建設工業株式会社
秋津道路株式会社	清水建設株式会社 北海道支店	株式会社日栄建設	株式会社山田組
旭イノベックス株式会社	白崎建設株式会社	日成建設株式会社	株式会社山伏パコム
株式会社アサヒ建設コンサルタント	株式会社シン技術コンサル	日測技研株式会社	山本電子工業株式会社
あすなろ道路株式会社	新太平洋建設株式会社	日本工営株式会社 札幌支店	渡辺建設工業株式会社
荒井建設株式会社	新島工業株式会社	日本データサービス株式会社	
株式会社 安藤・間 札幌支店	新谷建設株式会社	日本道路株式会社 北海道支店	●個人
株式会社生駒組	世紀東急工業株式会社 北海道支店	日本ファブテック株式会社 札幌営業所	阿部 芳昭
勇建設株式会社	株式会社総北海 札幌支店	株式会社野田組	牛島 元嗣
株式会社石山組	大成ロテック株式会社 北海道支店	パシフィックコンサルタンツ株式会社	梅田 勝
株式会社伊豆倉組	大地コンサルタント株式会社	株式会社橋本川島コーポレーション	大野裕一郎
株式会社磯田組	大同舗道株式会社	花本建設株式会社	尾埜 森己
株式会社伊藤組	大北土建工業株式会社	パブリックコンサルタント株式会社	勝見 洋一
伊藤組土建 株式会社	株式会社ダイヤコンサルタント北海道支店	東日本道路株式会社	小塚 耕平
株式会社伊藤工業	株式会社高組	日吉建設株式会社	古藤 敏之
岩倉建設株式会社	高玉建設工業株式会社	株式会社廣野組	鈴木 秀之
岩田地崎建設株式会社	タカハタ建設株式会社	不二建設株式会社	清水 敏夫
植村建設株式会社	株式会社田中組	富士新舗道株式会社	清崎 晶雄
株式会社エーティック	株式会社田中工業	株式会社藤田組	高松 泰
ENEOSトレーディング株式会社	株式会社谷脇組	藤原工業株式会社	田口 美香
株式会社園 建	株式会社田端本堂カンパニー	株式会社不動テトラ 北海道支店	田下 啓一
及川産業株式会社	株式会社玉川組	萌州建設株式会社	恒松 浩
大江建設株式会社	株式会社田宮設計事務所	北央道路工業株式会社	東岱 庄一
株式会社大林組 札幌支店	地崎道路株式会社 北海道支店	北斗徽章株式会社	巻 登
大林道路株式会社 北海道支店	中央コンサルタンツ株式会社 札幌支店	北土建設株式会社	湊 雄一
株式会社ガイアート 北海道支店	中大実業株式会社	北都道路株式会社	山本 隆幸
株式会社開発工営社	株式会社通電技術	株式会社北開水工コンサルタント	遊佐 義彦
開発工建株式会社	辻谷建設株式会社	株式会社北海道近代設計	渡辺 総悦
鹿島道路株式会社 北海道支店	ツバメ工業株式会社	株式会社北海道新聞社	
機械開発北旺株式会社	株式会社DSP	北海道道路エンジニアリング株式会社	
岸本産業株式会社	株式会社ティーンネットジャパン北海道支店	株式会社北海道丸和ロジスティクス	

Wedge co.,ltd.



IP無線が創る 確かなつながり。

トランシーバーや無線機の販売、イベント運営や地域行事の際の無線機レンタルなど、お気軽にご相談ください。

ウェッジ株式会社 TEL : 0120-248-144 <http://www.aaa-wedge.co.jp>

本社・京都営業所

東京支店

大阪支店

名古屋支店

福岡支店

仙台支店

札幌支店

広島営業所



サードパーティ・ロジスティクス(3PL)事業
運輸事業「桃太郎便」
一般家電 宅配・取付設置・工事



桃太郎便

AZ-COM
MOMOTARO-3PL-SYSTEM

サービスの基本を大切にする

株式会社 **北海道丸和ロジスティクス**

〒061-3244 北海道石狩市新港南2丁目718番地2
TEL 0133-64-7981 FAX 0133-64-7983

Natural Mineral Water

京極の名水

日本名水百選

京極製氷
Secoma

京極製氷株式会社
〒044-0131 北海道虻田郡京極町字川西40番4

交通規制のあらまし

The outline of the traffic restriction

お問い合わせ

(公財) ツール・ド・北海道協会
☎ 011-222-5922

ツール・ド・北海道2019開催期間中の9月6日(金)から9月8日(日)までの間、国道・道道・市町村道等において、次のとおり交通規制が行われます。皆様のご協力をお願いします。

1. 競技コース周辺道路は、混雑が予想されますので車両で通行する際には十分注意してください。
Please be careful when driving roads around the race course since the congestion is anticipated due to the traffic restriction.
2. 競技車列に順行する車両は、後方を追従して走行できますが、車列の追い越しや割り込みはできませんので注意してください。
During the race, passing or interrupting the race caravan is forbidden; however, driving following the rear of the caravan is permitted.
3. 競技車列に対向する車両は、支障がない限り通行できますが、競技自転車が接近しているときは、減速するなど競技の安全にご協力下さい。その際、右折、横断、転回はできませんので注意してください。
Although driving the oncoming lane is possible, for securing the safety of the race, we ask for your cooperation to slow down when riders are coming close. In this case, right turn, crossing the road and turning around are also forbidden.
4. 競技自転車がトンネルや急カーブ等の道路を走行する場合は、危険防止のため、その手前で対向車両に一時的に停止(停止時間は、最小10分間、最大65分間程度)をお願いすることがあります。
We may ask you to pause in front of the tunnels or on the tight turn, to assure the safety. (Period of time depends on the race situation.)
5. 規制時間は、競技状況等によって変更になる場合がありますのでご了承願います。
Please note that the time schedule is subject to change depending on the race situation.



TOUR DE HOKKAIDO

お問い合わせ先 / For further information
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23 第二道通ビル 5階
Daini Dotsu Bldg. 5F, North 5, West 6, Chuo-ku, Sapporo, 060-0005, Japan
公益財団法人ツールド・北海道協会 / Tour de Hokkaido Association
電話 (011) 222-5922 ファックス (011) 232-4604
Tel+81-11-222-5922 Fax+81-11-232-4604
<https://www.tour-de-hokkaido.or.jp>
E-mail tourde-h@spice.ocn.ne.jp
E-mail tourdech@jasmine.ocn.ne.jp (for English)

公益財団法人日本自転車競技連盟 / JAPAN CYCLING FEDERATION
電話 (03) 6277-2690 ファックス (03) 6277-2691
Tel+81-3-6277-2690 Fax+81-3-6277-2691
<https://jcf.or.jp>
E-mail cycling@japan-sports.or.jp

UNION CYCLISTE INTERNATIONALE (国際自転車競技連合)
TEL+41-24-468-5811 FAX+41-24-468-5812



ROYCE'



SUBARU